# さよなら銀河鉄道999

## ——アンドロメダ終着駅——

監督・りんたろう

## "SAYONARA"

Lyric : Mary Macgregor

Music : Mary Macgregor & Brian Whitcomb

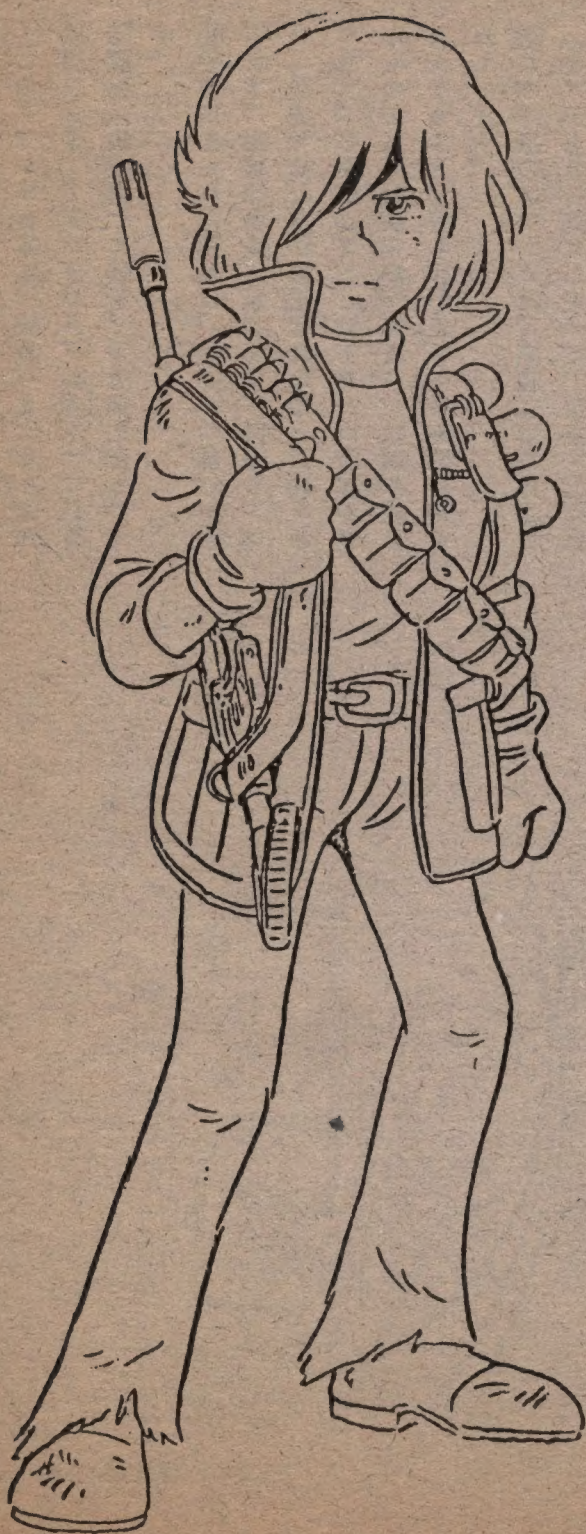
SAYONARA, SWEET MEMORIES
IT'S GOODBYE
SAYONARA, DON'T LOOK BACK
DON'T ASK WHY
THE TIME TO COME WILL COME
AND YOU WILL GO ALONE
KEEP TO YOUR HEART
SAYONARA

AND SO MY FRIEND
NOW IT MUST END
NOW YOU ARE GROWN
I CAN'T STAY ON
THINK OF THE MEMORIES WE'VE KNOWN
CAREFULLY FEELING YOUR WAY
YOU'RE GETTING STRONGER EACH DAY
HOW CAN I FIND WORDS TO SAY
I'LL MISS YOU

SAYONARA, SWEET MEMORIES
IT'S GOODBYE
SAYONARA, DON'T LOOK BACK
DON'T ASK WHY
THE TIME TO COME WILL COME
AND YOU WILL GO ALONE
KEEP TO YOUR HEART
SAYONARA

THE TIME TO COME WILL COME
AND YOU WILL GO ALONE
KEEP TO YOUR HEART
SAYONARA

SAYONARA, SAYONARA, SAYONARA(to fade)

あれから2年
青春のロマンをのせて
銀河鉄道999は
ついに最後の旅へ……

# さよなら銀河鉄道999
—アンドロメダ終着駅—

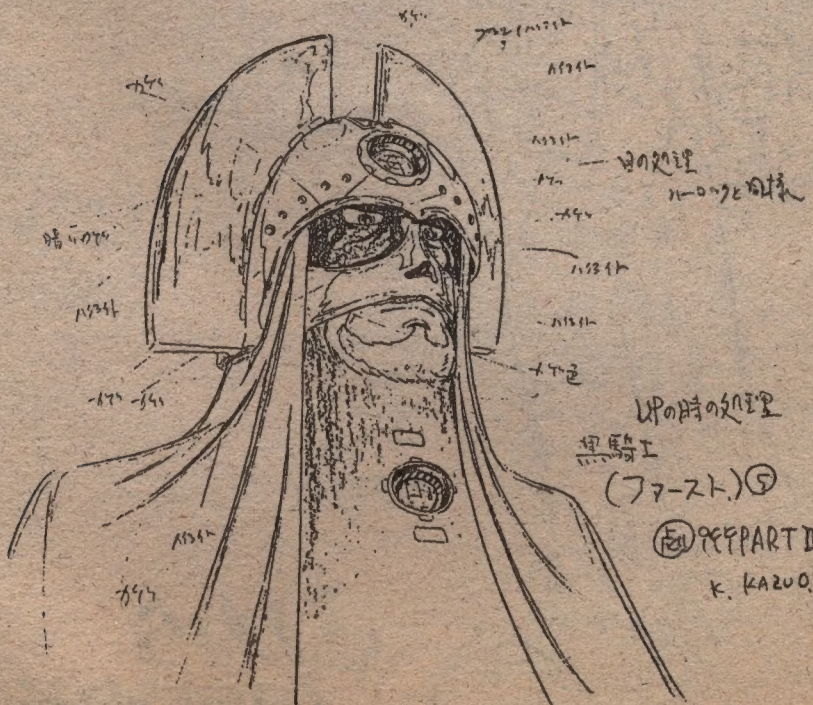
1 このアフレコ台本は、映画「さよなら銀河鉄道999――アンドロメダ終着駅」の最終印刷物（決定稿）に若干、手を加えたものです。

2 手が加えられた箇処は、せりふの部分が中心です。最終印刷物になっても、実際のアフレコ現場でせりふが修正されることは間々あります。したがって、このアフレコ台本がほんものの〝最終決定稿〟になり、映画に使われたせりふと寸分ちがわないものがおさめられています。

3 この作品のアフレコは、昭和56年6月26日（金）から3日間にわたって、東京・大久保にあるタバック・スタジオで行われました。

4 アフレコとはアフターレコーディングの略で、撮影フイルムが完成したあとで録音することをいいます。アテレコともいいますが、これは俗語。画面に声をアテるところから発生したことばだといわれています。

5 なお、このアフレコ台本は原文になるべく添う形でまとめましたが、一部のむずかしい漢字、および略字にはルビをつけました。また、送り仮名に若干、修正を加えた箇処があります。

（AM編集部）

ファウスト（設定書より）

製作総指揮　今田智憲

企画

原作　松本零士

構成

企画　有賀健
　　　高見義雄

製作担当　大野清

脚本　山浦弘靖

作画監督　小松原一男

美術監督　椋尾篁

美術　窪田忠雄

音楽　東海林修

主題歌作詞　メアリー・マッグレガー

作曲　メアリー・マッグレガー
　　　ブライアン・ウィッカム
　　　（コロムビアレコード）

監督　りんたろう

原画

森利夫
野田卓雄
才田俊次
金田伊功
山口泰弘
後藤紀子
沼尻東
青鉢芳信
木下ゆうき
横山涼一
白川忠志
鍋島修
相原信洋
的場茂夫
金山通弘
小川明弘

メカニックデザイン

阿部隆
木野達児

動画チェッカー

板橋克巳

動画

新井豊
山田みよ・長沼寿美子
西島義隆・山本美奈子
河野宏之・小坂ちえみ
片岡恵美子・保谷由佳
岸本良子・福田忠
吉田健二・伊藤水穂
茂木久美子・村上洋子
飯沢ひろみ・亀田真須美
青井清年・青島正和
石津利子・佐藤博明
野口昇子・本宮真弓
芹田明雄・田中勇

| 役職 | 氏名 |
|---|---|
| | 渡辺美和子・浅沼由紀<br>青梅優子・中島泰代<br>山田浩之・高坂希太郎<br>重乳根博文・友永恵美子<br>永井恵子・江野沢柚美<br>佐藤恭子・浦川裕子<br>大島孝美・松村敬子<br>加藤良子 |
| トレース | 黒沢(チーフ)和子・坂野園江 |
| 彩色 | 村田(チーフ)邦子・山内正子 |
| ゼログラフ | 富永(チーフ)勤・林昭夫 |
| 特殊効果 | 浜(チーフ)桂太郎・河内正行 |
| 仕上検査 | 塚田劭 |
| 背景 | 中山益男・鹿野良行<br>河野尋美・安藤洋美<br>本間薫・加藤明美<br>加藤景・池畑祐治 |

| 役職 | 氏名 |
|---|---|
| 記録 | 池田紀代子 |
| 製作進行 | 楠美直子 |
| 仕上進行 | 平賀豊彦 |
| 美術進行 | 阿久津文雄 |
| 監督助手 | 吉沢孝男 |
| 進行主任 | 池上悟 |
| 撮影 | 高梨洋一・町田賢樹 |
| 編集 | 花井正明 |
| 録音 | 二宮健治 |
| 効果 | 松田昭彦 |
| 録音スタジオ | タバック |
| 現像 | 東映化学 |
| 宣伝 | 徳山雅也 |

## キャスト

星野鉄郎……………………野沢雅子
メーテル……………………池田昌子
車掌…………………………肝付兼太

×　×　×

黒騎士………………………江守　徹

×　×　×

プロメシューム……………来宮良子
ハーロック…………………井上真樹夫
エメラルダス………………田島令子
ミーメ………………………小原乃梨子

×　×　×

メタルメナ…………………麻上洋子
ミヤウダー…………………富山　敬

トチロー……………………富山　敬

×　×　×

機関車……………………柴田秀勝
母……………………坪井章子
有紀螢……………………川島千代子

×　×　×

老パルチザン……………森山周一郎
ゲリラ隊長………………大塚周夫
パルチザンA……………吉沢孝男
〃　B……………山本敏之
〃　C……………戸谷公次
〃　D……………田中康郎
メッセージの男…………宮内　彰

×　×　×

ナレーター………………城　達也

# さよなら 銀河鉄道999
## ARロール表

〈編集部注〉ふつう、音のないフィルムは最初から１本にまとまっているわけではない。30分ものだと、たいがい４本にわかれている。「銀鉄」の場合は32本。その１本のことをロールという。声優さんたちは、ロールごとの登場人物により出演日が決定されるのだ。その表のことをロール表という。

| ARロール | 切り出し個所 | 人物 | 備考 |
|---|---|---|---|
| | 1-1～1-3 | | |
| AR－1 | 1-4～2-1 | 鉄郎、声、パルチザン達、パルチザンA | |
| AR－2 | 3-1～5-1 | 鉄郎、老パルチザン、パルチザンB、C.D、プロメシューム、歓声 | 別取 |
| AR－3 | 6-1～11-10 | 鉄郎、老パルチザン、パルチザンB、C.D、メッセージを持ってきた男、メーテル | 別取 |
| AR－4 | 12-1～14-14 | 鉄郎、車掌、機関車 | |
| AR－5 | 15-1～17-1 | 鉄郎、車掌、老パルチザン | |
| | 17-2～19-1 | | |
| AR－6 | 20-1～30-13 | 鉄郎、車掌、メタルメナ、メーテル | 別取可 |
| | 31-1～32-5 | | |
| AR－7 | 33-1～44-1 | 鉄郎、車掌、機関車、声(幽霊列車)、人間達の嗚泣く声 | 別取 |
| | 44-2～44-9 | | |
| AR－8 | 45-1～51-1 | 鉄郎、車掌、メタルメナ、スピーカー | |
| AR－9 | 52-1～56-4 | 鉄郎、ミヤウダー、隊長、声、パルチザン達(AD) | |
| AR－10 | 57-1～60-6 | 鉄郎、ミヤウダー | |
| AR－11 | 61-1～67-7 | 鉄郎、メーテル、車掌、ミヤウダー | 57-11のセリフ |
| AR－12 | 68-1～77-1 | 鉄郎、メーテル、車掌、黒騎士、機関車 | |
| AR－13 | 78-1～81-14 | 鉄郎、母 | |
| AR－14 | 82-1～86-3 | 鉄郎、メーテル、車掌、黒騎士、ミヤウダー | 別取可 |

|  |  |  |  |
|---|---|---|---|
|  | 87-1～87-9 |  |  |
| AR—15 | 88-1～97-1 | 鉄郎、メーテル、車掌、メタルメナ、エメラルダス |  |
| AR—16 | 97-2～107-5 | 鉄郎、メーテル、車掌、メタルメナ、機関車 |  |
|  | 109-2～115-3 |  |  |
| AR—17 | 111-1～111-2 | 機関車 | 抜き又はOnly |
| AR—18 | 116-1～116-20 | 鉄郎、メーテル、車掌、黒騎士、メタルメナ、スピーカー、機械化人(AD) | 別取 |
|  | 117-1～118-2 |  |  |
| AR—19 | 118-3～118-16 | メーテル、プロメシューム |  |
| AR—20 | 119-1～121-21 | 鉄郎、車掌、群衆 | 別取 |
|  | 122-1～122-2 |  |  |
| AR—21 | 122-3～123-20 | 鉄郎、メーテル、車掌、メタルメナ(AD)、声、人間のうめき声 | 別取 |
| AR—22 | 125-1～125-55 | 鉄郎、メーテル、車掌、メタルメナ、声(機兵)、ミヤウダー | 60-2のセリフ |
| AR—23 | 125-56～130-9 | 鉄郎、メーテル、プロメシューム、黒騎士、機械化兵 |  |
| AR—24 | 131-1～134-28 | 鉄郎、メーテル、車掌、メタルメナ(AD)、機械化人、パルチザン達 | 別取 |
| AR—25 | 135-1～149-5 | 鉄郎、メーテル、車掌(AD)、プロメシューム、ハーロック、ミーメ、螢、機関車、機械化兵(AD)、トチロー | 別取 |
| AR—26 | 150-1～153-2 | ハーロック、黒騎士、エメラルダス |  |
| AR—27 | 154-1～154-9 | 機械化人 |  |
| AR—28 | 155-1～160-1 | 鉄郎、メーテル、車掌、プロメシューム、黒騎士、エメラルダス、メタルメナ |  |
|  | 161-1～164-2 |  |  |
| AR—29 | 165-1～168-11 | 鉄郎、メーテル、プロメシューム、ハーロック |  |
| AR—30 | 169-1～169-18 | 鉄郎、メーテル、車掌、エメラルダスパルチザン達(AD) |  |
| AR—31 | 170-1～171-15 | 鉄郎、メーテル |  |
|  | 172-1～172-6 |  |  |
| AR—32 | 173-1～174-5 | ナレーター |  |
|  | 175-1～175-6 |  |  |

AR台本中の用語解説

F・I／フェイド・イン。暗い画面がしだいに明るくなり、イメージが現われること。

F・O／フェイド・アウト。画面がしだいに暗くなってイメージが消えてゆくこと。

S／シーンのこと。

C／カットのこと。

O・L／オーバー・ラップ。画像が重なりあうこと。

T・U／トラック・アップ。カメラが被写体に寄ること。

T・B／トラック・バック。カメラが被写体から離れること。

PAN／画面が横移動すること。

PAN・UP／パン・アップ。画面が左右への動きを加えて、上方に移動すること。

PAN・DOWN／パン・ダウン。画面が左右への動きを加えて、下方に移動すること。

IN／画面に人物のなんかが入ってくること。

OUT／画面から人物なんかがでていくこと。

N／ナレーション。

赤ん坊の鉄郎と両親（設定書より）

| S | C | 画面 | 音声 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 暗黒の空間<br>Ⓣ I~F.O<br>F.して<br>突如、光が曲線描いて遙か彼方へ吸い込まれていく<br>一瞬画面を覆う光の中に黒々と浮びあがるメガロポリス | |
| | 2 | 再び暗黒を切り裂く光<br>浮びあがるメガロポリスの一画 | |
| | 3 | ゆっくりと倒れていく巨大なビル<br>窓から猛烈な火を吹き出しながら<br>その眼前に――<br>廃虚と化したメガロポリスが拡がる<br>静かに時雨が降りはじめる | |
| | 4 | 同廃虚の一画<br>青白く浮び上るパルチザンたち。中OLで薄暗い画調に戻る | |

| S | C | 画面 | 音声 |
|---|---|---|---|
| | 5 | 再び青白く浮びあがるパルチザンたち<br>雨だれ落ちて―― | |
| | 6 | 廃虚に蹲っているパルチザンたち<br>瓦礫の蔭に蹲る鉄郎の後姿<br>若いパルチザンが登ってくる | |
| | 6A | 蹲っている鉄郎<br>INする若いパルチザン<br>中腰になってコーヒーカップ差し出す | Ⓐ おい、のめよ |
| | 7 | 顔あげる星野鉄郎<br>コーヒーカップを受けとろうとする | |
| | 8 | 闇の中、光芒が走る<br>ゆっくりと振り返る鉄郎<br>近づいてくる光芒<br>ゆっくりと振り返る若いパルチザン<br>画面に近づくに従ってスピードを増す光芒 | |
| | 9 | 瓦礫に身を伏せて銃を構えている鉄郎 | |

| 1 | | |
|---|---|---|
| | 手前にこぼれるコーヒー<br>がくっと折れる若者の膝 | |
| 10 | 穴のあいたカップからコーヒーがこぼれ<br>ゆっくりと倒れていく若いパルチザン | |
| 11 | コーヒーカップ、バウンドして瓦礫の水溜りへ— | |
| 12 | 瓦礫の中の鉄郎、青白く浮びあがる<br>右上を用心深く見上げる<br>這うようにして瓦礫の中を進む | 鉄郎　……くそっ |
| 13 | 廃虚の高層ビル<br>体を低くして小走りにINする鉄郎、瓦礫の蔭へとび込む | |
| 14 | 様子を伺う鉄郎<br>銃を手許へ引きよせる | |
| 15 | 暗いビルの窓<br>ピカッと一瞬窓の中で光って消える | |
| 16 | ガバッと立ち上り射つ<br>銃床肩に当てて—— | |

| 1 | | |
|---|---|---|
| 17 | 射つ鉄郎UP<br>空薬莢が舞う | |
| 17A | 光芒が窓の中へ吸い込まれていく | |
| 18 | 窓から落下する機械化兵<br>青い炎に包まれて—— | |
| 19 | 落下して行く炎に包まれた機械化兵 | |
| 20 | 凄まじい光線の渦が舞う<br>（俯瞰） | 声　（エコー）囲まれたぞオ—— |
| 21 | 瓦礫の中の鉄郎、振り向く | |
| 22 | 爆発。吹っとぶパルチザン | |
| 23 | 爆発とエネルギー弾の雨<br>走るパルチザンたち<br>吹っとぶパルチザン | （以後パルチザンたちのアドリブ） |
| 24 | 応戦するパルチザンたち<br>交差するエネルギー弾<br>手榴弾落下して——<br>吹っとぶパルチザンたち | |
| 25 | 応戦するパルチザンたち<br>体を低くして駈け降りて行く鉄郎 | |

| 1 | | |
|---|---|---|
| 26 | 応戦するパルチザン<br>鉄郎、乱射しながら走り込んで瓦礫の蔭へ | |
| 27 | 情景が浮び上ると、無数の兵の姿が見える<br>落下する火だるまの機械化兵 | |
| 28 | 押し寄せてくる機械化軍団<br>前方から蝗虫(いなご)のように跳びながら手前にOUTしていく | |
| 29 | 応戦するパルチザン<br>手榴弾次々と投げる鉄郎<br>射たれ落下するパルチザン | |
| 30 | 吹っとぶ機械化兵たち | |
| 31 | 追ってくる機械化兵たち<br>吹っとぶ | |
| 32 | 応戦するパルチザンたち<br>火だるまで落下する機械化兵、自爆する | |
| 33 | 銃撃戦<br>落下していく兵 | |

| 1 | | |
|---|---|---|
| 34 | 押し寄せる機械化兵たち | |
| 35 | 紅蓮(ぐれん)の炎を背に応戦する鉄郎 | 声　（エコー）脱出するんだ、急げ、限りある命のため！生きとし生けるものの未来のために！ |
| 36 | 凄まじい爆発の連呼（俯瞰） | |
| 37 | 走るパルチザンたちの足手前倒れている機械化兵のメーター点滅<br>自爆する—— | パルチザンたちの喚声流れて—— |
| 38 | 銃射ちながら突撃してくるパルチザンたち・爆発。とび交うエネルギー弾の雨<br>画面いっぱいに爆発 | （喚声(かんせい)上げるパルチザンたち） |
| 39 | 突撃するパルチザンたち<br>火の雨が降り注ぐ中、水しぶきあげて——<br>鉄郎INしてくる<br>ストップモーション<br>その顔へTUしながら消し込みタイトルIN<br>〝動乱の時代が来た〟<br>猛爆のメガロポリス | （喚声と銃声等々FOいっぱいにこぼして） |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| | | 爆発追ってPAN<br>PANしながらFOする<br>ADIEU GALAXY EXPRESS | |
| 2 | 1 | 再び暗黒<br>メインタイトル静かにFIする<br>〝さよなら銀河鉄道999アンドロメダ終着駅〟 | |
| 3 | 1 | 閃光に浮び上る廃虚のシルエット<br>重い足を引摺るように敗走するパルチザンのシルエット<br>タイトル① | |
| | 2 | 重い足どりで行く老パルチザン、<br>暗い室内に壊れた揺り籠と人形等<br>蹌踉とした鉄郎IN<br>タイトル② | |
| | 3 | 老パルチザンが下へOUTする<br>鉄郎、重い足どりでINしてくる。後方の空間に閃光走る | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 3 | 4 | 鉄郎、振り返る<br>赤く染る戦火の空<br>上体を元へ戻し、銃を担ぎ直す<br>手の甲で額を拭う | |
| | 5 | 疲労困憊の鉄郎UP<br>タイトル③ | |
| | 6 | 赤茶けた水溜り<br>重い足を引摺るようにしてIN～OUTする四人のパルチザンの足<br>タイトル④ | |
| | 7 | 歩く四人のパルチザンたち<br>最後に老パルチザンが行く<br>水音に足を止めて背後をふり返る老パルチザン | |
| | 8 | 水溜りの中の鉄郎<br>片膝つきハァハァと息をついている<br>銃を支えに水溜りへ座り込んでしまう | 老パルチ　どうした、若いの!?<br>鉄郎　もう歩けません(顔あげて)俺に構わず行って下さい… |
| | 9 | ガックリと頭をおとす鉄郎 | 老パルチ　生きたかったら命のある限り歩け! |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 3 | | ゆっくり踵を返して歩き去る<br>老パルチザンOUT<br>一瞬赤く染る空間<br>タイトル⑤ | 老パルチ　（次第にエコー）生き続けたかったら、命のある限り戦え！<br>気力を失ったら死ぬぞ…… |
| | 10 | 水溜りの中の鉄郎<br>気力をふりしぼって立ち上る | 鉄郎　ハックション |
| | 11 | 歩き去る鉄郎<br>タイトル⑥ | |
| 4 | 1 | 廃虚・アジト<br>一画がボーッと明るい<br>ゆっくりと明りの部分へTU<br>時折外界がパアッと赤く染まる<br>タイトル⑦ | パルチⒷの声　他のブロックは全滅したらしいぜ<br>Ⓒの声　（エコー）生き残ったのは俺たちだけらしいな……どうなるんだ、これから |
| | 2 | 焚火を囲むパルチザンたち<br>タイトル⑧ | Ⓓの声　（エコー）戦って戦って死ぬだけさ…ただ、それだけのことさ |
| | 3 | 焚火。ブリキのコーヒー沸しから湯気が立ち昇っている<br>老パルチザン、薪の一本を手にする | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 4 | 4 | パイプに火をつける老パルチザン<br>Ⓑ、スープを啜っている | |
| | 5 | ハーモニカを吹くⒹ | |
| | 6 | 焚火を囲むパルチザンたち<br>粗末な毛布にくるまって眠っている鉄郎 | |
| | 7 | 鉄郎UP、パチッと目を皿のように開いて毛布はねのけ、ガバッと起き上る | 鉄郎　999…！ |
| | 8 | 赤く染まる空間に一瞬見える | |
| | 9 | 見上げている鉄郎（俯瞰）<br>焚火を囲んでいるパルチザンたち<br>雨だれが光りながらピチャンピチャンと落ちている | Ⓑ　寝呆けたのか鉄郎？<br>Ⓒ　銀河鉄道か…そんなものはもうずっと以前から動いてないんだ。死んだのさ、銀河鉄道も |
| | 10 | 戦火の空へ消えていく黒い列車<br>ゆっくりとカーブを描いて印象的に | |

4

| No. | 画面 | 台詞 |
| --- | --- | --- |
| 11 | 見上げている鉄郎<br>老パルチザンの台詞の途中で振り向く鉄郎 | Ⓑ　しかし、懐しいなあの頃が……<br>老パルチ　夢さ……若い頃のことは、あとになってみりゃ、みんな夢みたいなもんだ… |
| 12 | 老パルチザンとⒷⒹの方を向く | 老パルチ　喜んで哀しんで、思い出だけが残って……<br>うん?! |
| 13 | 立ち上るⒹ<br>振り向く老パルチザンに続いてⒷⒸも振返る | |
| 14 | アジト全景<br>耳を澄ますパルチザンたち | プロメシューム！　プロメシューム！<br>遠雷のようなシュプレヒコールが聞こえてくる—— |
| 15 | 立ち上る鉄郎、パルチザンたち | 鉄郎　プロメシュームは死んだぞ！ |
| 16 | 鉄郎<br>銃を手にし、弾帯を投げ捨てる | 鉄郎　機械化母星は宇宙から消えたんだ！<br>老パルチ　(OFF)　落着け、若いの！ |
| 17 | 頭へ来た鉄郎<br>錯乱気味である | 鉄郎　やめさせてやる！ |

4

| No. | 画面 | 台詞 |
| --- | --- | --- |
| 18 | アジト外<br>瓦礫の上へとび出してくる鉄郎<br>怒鳴りまくる鉄郎<br>足元の瓦礫が崩れ落ちて——<br>Ⓑが後を追いかけてくる | パルチザン　鉄郎！<br>鉄郎　やめろーっ！　やめろ、やめろーっ！<br>あーっ<br>Ⓑ　バカ野郎、狙撃兵の的になりたいのか！ |
| 20 | アジト内部<br>瓦礫の間をくぐり抜けるように戻ってくるⒷと鉄郎 | Ⓒ　(OFF)大分まいっているようだな<br>Ⓑ　(OFF)無理もないよ。こうなると誰だって自分が追いつめられたドブネズミのような気になるぜ……負けたのさ俺たちは…… |
| 21 | コーヒーを注ぐ老パルチザン<br>その背後、奥からⒷと鉄郎INしてくる | |
| 22 | 焚火囲む一同<br>鉄郎にコーヒーをすすめる老パルチザン<br>坐り込むⒷ<br>コーヒーを受けとり坐る鉄郎。その傍に坐り直す老パルチザン | 老パルチ　さ、飲め、鉄郎<br>鉄郎　…俺はたしかにプロメシュームが死ぬのを見た…<br>老パルチ　そうか… |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 4 | 23 | 鉄郎と老パルチザン<br>コーヒーを一気に飲む鉄郎<br>じっと火を見つめて | 鉄郎　機械化母星が砕け散る処(ところ)をこの目で見た<br>老パルチ　そうか… |
| | 24 | 回想<br>機械化母星を包む紅蓮の炎 | |
| | 25 | 叫ぶ鉄郎<br>クサる鉄郎<br>ギクッとする | 鉄郎　本当に見たんだ！<br>老パルチ　そうか…<br>プロメシュームの声　この世を支配するは永遠の命…この世を治めるは永遠の命宿る不滅の機械の体のみ… |
| | 25A | 顔上げる鉄郎 | |
| | 25B | 超亜空間のショット | |
| 5 | 1 | 廃虚の夜景（俯瞰）<br>チカチカと廃虚の谷間から明りが見える<br>沸き上るシュプレヒコール | プロメシュームの声　限りある命など虚(むな)しいもの…我らが築くは未来永劫(えいごう)、終ることのなき永遠の命に支えられた永遠の機械化世界<br>プロメシューム！　プロメシューム！　プロメシューム！ |

AR-3

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 6 | 1 | コーヒーポットUP | |
| | 1A | アジト内部<br>茫然自失の鉄郎<br>慌(あわ)てて傍(そば)の銃をとり、かけ出す老パルチザン<br>Ⓑも立ち上って銃を片手にかけ出す<br>Ⓒ、フレームにとび込み銃を構える | Ⓑ　じいさん、誰かこっちへ来る！<br>老パルチ　なにっ？ |
| | 2 | 銃を構えている老パルチザンとⒷ | 老パルチ　とまれ！ |
| | 3 | 同・入口<br>シルエットの人物が蹌踉と現われる<br>ズルズルと倒れ込む人影 | 声　（息も絶え絶えに）う、射つな！　味方だ…メ、メッセージをもって来た… |
| | 4 | 老パルチザン | 老パルチ　メッセージ？ |
| | 5 | 人影、銃を杖に起上るが再び蹌踉(よろ)めいて壁を背にへたり込む | 男　ここに、星野鉄郎はいるか？ |
| | 6 | 振り返る鉄郎<br>立ち上りかけ出す | |
| | 7 | とび出して行く鉄郎 | 老パルチ　お、おい！ |
| | 8 | へたり込んでいる男<br>INする鉄郎、男の前へ進み出る | 男　お前がそうか…<br>鉄郎　ああ… |

| 6 | | |
|---|---|---|
| 9 | 男と鉄郎<br>男、ゆっくり鞄を手元へ引きよせる<br>鞄の中から何やらとり出し、差し出す<br>受けとる鉄郎 | 男　ずい分捜したぞ… |
| 10 | 小さなメッセージカードを見つめる<br>男の方を見る | 鉄郎　これを、俺あてに? |
| 11 | ゆっくりのめる男<br>背中に銃創がある | 男　たしかに渡したぞ… |
| 12 | のめる男<br>思わずかけ寄り、体を揺する<br>すでに死んでいる<br>がっくりと坐り込んでしまう鉄郎 | 鉄郎　し、しっかりして… |
| 13 | 鉄の墓標 | |
| 14 | メッセージカード<br>握り拳をゆっくり開く | |
| 15 | 見守る鉄郎UP | |
| 16 | メッセージカード、点滅をはじめる | メーテルの声　私はメーテル |
| 17 | 愕然(がくぜん)とする鉄郎 | 鉄郎　メーテル! |

| 6 | | |
|---|---|---|
| | スローモーションで立ち上る鉄郎 | メーテルの声　鉄郎、スリーナインに乗りなさい |
| 18 | 回想<br>鉄郎にパスをくれるメーテル<br>愉(たの)しい999の旅を続ける鉄郎とメーテル<br>駅での悲しい別離 | |
| 19 | 立ち尽す鉄郎 | メーテルの声　私はメーテル、鉄郎、スリーナインに乗りなさい…<br>私はメーテー(プツンと切れて) |
| 20 | 老パルチザンと鉄郎ゆっくり焚火の方へ視線を落して<br>うなづく鉄郎 | 老パルチ　…行くのか、若いの?<br>鉄郎　ええ |
| 21 | 銃床で地面掘る | |
| 22 | 見守るパルチザンたちじっと足元の火を見つめる鉄郎 | Ⓒ　しかし、スリーナインが来てるかどうか分らないぞ |
| 23 | 土中から埃(ほこり)だらけの小型トランク出る | |
| 24 | 見守るパルチザンと鉄郎 | Ⓓ　メガロポリスも中央ステーションも奴らに押えられている |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
| --- | --- | --- | --- |
| 6 | 25 | トランクの蓋(ふた)を開ける | Ⓓ （OFF）それでも行くのか？ |
| | 26 | 大きく頷(うなず)く鉄郎 | 鉄郎　ええ |
| | 27 | トランクの中味<br>コスモドラグーン銃とパス等が入っている<br>コスモドラグーン銃を手にする。ホルスターから少々抜いてみる<br>パシッと再びホルスターへ納める | 老パルチ　（OFF）若いってのは<br>いいもんだ |
| | 28 | パイプの掃除しながら顔を上げる | 老パルチ　どんな小さな希望にも自分のすべてを賭けることができるからな |
| | 29 | 一同の前に立つ鉄郎<br>奥から歩いて来て立ち止る<br>肩からコスモドラグーンが下がり、手に帽子とマントを持っている<br>ゆっくりと腰を上げる老パルチザン<br>Ⓒ立ち上る<br>続いてⒷが立ち上る<br>最後にⒹが立ち上る | 老パルチ　みんな、わしらの伜(せがれ)が行くと云うんだ、行かせてやろうじゃないか<br>Ⓒ　そうだな！ |
| 6 | 30 | 感激する鉄郎<br>左前方から老パルチザンINして<br>ガツンと肩を掴(つか)んで力づける | 鉄郎　あ―― |
| | 31 | 老パルチザン。鉄郎を見つめる優しい眼 | |
| | 32 | 焚火消す<br>コーヒーをぶちまける<br>濛々(もうもう)とたちこめる煙 | |
| | 33 | アジト全景、明りがスーッと消える | |
| 7 | 1 | 集中するエネルギー弾<br>ガバッと立ち上り応戦する老パルチザンとⒷ | |
| | 2 | 同・内部<br>機械化兵が火だるまとなって次々と落下していく<br>自爆する | |
| | 3 | 走るパルチザンたち<br>老パルチザンとⒷ<br>水溜りの中を一気にかけ抜けカメラ下へOUT<br>続いて鉄郎が走ってくる。その後をⒸとⒹが走る | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 7 | | ってくる<br>Ⓓがのけぞる<br>Ⓒが射つ<br>水溜りへ倒れ込む | |
| | 4 | 落下する機械兵<br>振り返る鉄郎<br>自爆する兵<br>ⒸINして<br>後髪引かれる思いで走る<br>鉄郎とⒸ | Ⓒ　立ち止るな！　来い！ |
| | 5 | 見守るⒹ、半身起すよう<br>に顔上げて—— | |
| | 6 | 走る鉄郎たち | |
| | 7 | 息絶えているⒹ | Ⓓの声　お前は若い…未来がある<br>…しっかりやれよ！ |
| 8 | 1 | 走る鉄郎たち<br>鉄郎コミカルに跳んで四<br>人全員OUTして | |
| 9 | 1 | 廃虚化したビル街<br>シルエット現われ<br>次第に近付いてくる<br>突如エネルギー弾が集中<br>する | |
| | 2 | 応戦しながら走る鉄郎た<br>ち | |
| 9 | | とび交うエネルギー弾<br>Ⓒがのけぞる | |
| | 3 | 走る鉄郎UP<br>走りながら視線を後方へ<br>——肩口をかすめるエネ<br>ルギー弾 | 鉄郎　ああっ！<br>老バルチ（OFF）とまるな！<br>走れ！ |
| | 4 | 倒れるⒸ、走り去る鉄郎<br>たち | Ⓒの声　あとを…頼むぞ！ |
| 10 | 1 | メインストリートの出口<br>暗い出口の部分 | |
| | 2 | 闇の中<br>次第に足元から現われる<br>鉄郎たち<br>鉄郎UPして来て愕然と<br>した表情になる | |
| | 3 | そびえる中央ステーショ<br>ン<br>走り去る鉄郎たち | |
| | 4 | 破壊された中央ステーシ<br>ョンの全貌<br>打ち上げられる楕円(だえん)形の<br>照明弾 | |
| | 5 | 同広場。走り込んでくる<br>一同。鉄郎立ち止って見<br>上げる | |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 10 | 6 | そびえ立つ中央ステーション<br>雲ゆっくりと流れて | |
| | 7 | 仰ぎ見る鉄郎 | 鉄郎の声　こんな廃虚にスリーナインが来るはずが… |
| 11 | 1 | 中央ステーション・ホール<br>乱射する機械化兵たち | |
| | 2 | 射ち抜かれるⒷ<br>衝撃で体が舞う<br>とび交うエネルギー弾<br>応戦する老パルチザン<br>鉄郎、体を低くして反対側へとび込む | |
| | 3 | 突込んで行くⒷ<br>手榴弾抜きとりながら凄じい閃光と共に自爆するⒷ | Ⓑの声　鉄郎、くじけるなよ！ |
| | 4 | 走り出す老パルチザンと鉄郎<br>火の粉の舞う中を――手前へ走ってくる鉄郎 | 老パルチ　今のうちだ！ |
| | 5 | 階段駈け昇る二人の姿<br>手前からエネルギー弾走る | |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 11 | | ガクンとなる老パルチザン<br>片膝つく老パルチザンにかけ寄る鉄郎<br>手前ヌーッと現われる機械化兵 | 老パルチ　大丈夫だ… |
| | 6 | 銃拾って応戦する老パルチザン<br>鉄郎も応戦する | 老パルチ　ここはわしが引受ける |
| | 7 | 乱戦。火だるまで落下していく機械化兵<br>とび交うエネルギー弾<br>振り向く老パルチザン<br>再び乱射する老パルチザン<br>立ち上る鉄郎 | 老パルチ　早く行け！<br>鉄郎　でも…<br>老パルチ〃こんな処で死にたいのか！ |
| | 8 | 駆け上って行く鉄郎<br>肩をぶち抜かれて吹っとぶ老パルチザン | |
| | 9 | ふり返る鉄郎<br>一気に階段をかけ上って行く<br>足元でエネルギー弾が炸裂する | 老パルチ　(OFF)振り返るな！<br>行け！ |
| | 10 | 射ちまくる老パルチザン<br>烈しくとび交うエネルギ | |

| 12 | | |
|---|---|---|
| | ー弾<br>炸裂する弾 | |
| 1 | ステーション内部<br>走ってくる鉄郎<br>立ち止り右方向を見上げる。肩で息ついて | |
| 2 | 破壊されたエスカレーター<br>"99"プレートからTB<br>鉄郎IN。風が吹き抜けていく<br>瓦礫に塞がれているエスカレーター | 鉄郎　99番ホーム！　スリーナインの乗り場だ |
| 3 | 瓦礫の山<br>けん命に這い登ってくる鉄郎<br>はね上る鉛管<br>転げ落ちる鉄郎 | 鉄郎　とれじゃ、とてもスリーナインなんているはずが…<br>うわーっ |
| 4 | 舞い落ちる帽子<br>ジグザグに落下してくる帽子OUTすると、破れた天井が見える<br>雲が切れて月が顔を出す | |
| 5 | 仰ぎ見る鉄郎<br>月光受けて―― | |

| 12 | | |
|---|---|---|
| | 立ち上りながら帽子をかぶる | |
| 6 | ハッとする鉄郎<br>仰ぎシルエット | 鉄郎　!?… |
| 7 | 瓦礫の山<br>月光を浴びてシルエットの999が停車している。うっすらと白い煙吐いて―― | |
| 8 | 覗き見る鉄郎<br>その表情にパアッと明るさが漲る | 鉄郎　スリーナインだ！ |
| 9 | 月光浴びた999 | |
| 9A | 這い出す鉄郎 | |
| 10 | 瓦礫の山。這い上って行く鉄郎の後姿<br>振り返る鉄郎と同時に飛来する光芒<br>慌てて瓦礫の中へとび込む。ぶち抜かれる帽子 | |
| 11 | 迫る機械化兵<br>蝗虫のように跳んでくる | |
| 12 | 応戦する鉄郎。炸裂するエネルギー弾 | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 12 | 13 | 走ってくる人影。車掌である | 車掌　鉄郎さあん！ |
| | 14 | 振り仰ぐ鉄郎<br>車掌ＩＮして直立不動で<br>飛来する光茫に陰へとび込む車掌<br>再び応戦する鉄郎 | 鉄郎　ウン?!<br>車掌　お待ちしておりました。すぐ発車致します…<br>うひゃっ！ |
| | 15 | 顔出す車掌 | 車掌　ご乗車お急ぎを… |
| | 16 | 倒れる機械化兵士 | |
| | 17 | 応戦しながら進む鉄郎 | |
| | 18 | 月光浴びた999<br>待っている車掌 | |
| 13 | 1 | 機関車焚口（たきぐち）<br>ゆっくり蓋が左右へ開いていく | |
| | 2 | 同・内部<br>中央の知力燃焼室ボウッと明るくなる | 機関車の声　私は機関車Ｃ62の48 |
| | 3 | 知力燃焼室<br>赤いコンピューターの眼 | ボイラー内圧力上昇完了<br>全機構異常ナシ…<br>出発進行 |
| | 4 | 内部<br>動力が入り、点灯始まる | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 13 | 5 | 激しくホイッスル鳴る<br>ライト点灯 | |
| 14 | 1 | 応戦している鉄郎ＵＰ<br>ハッと振り仰ぐ | |
| | 2 | 激しく噴き出す蒸気<br>車掌ジタバタしながらコミカルに | 車掌　鉄郎さんッ、早く早く！ |
| | 3 | ピストンがゆっくりと動き出す | |
| | 4 | 這い上って行く鉄郎<br>激しくとび交う光茫 | |
| | 5 | 動輪ＵＰ<br>空転してゆっくりと動き出す | |
| | 6 | ゆっくりと動き出す999号<br>車掌ジタバタしながら | |
| | 7 | 廃虚と化したプラットホーム<br>ゆっくりとすべり出す999号<br>猛然と蒸気を吐き出して<br>——<br>ライトがパッとついて | |

14

| カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|
| 8 | 駈け足している車掌<br>ゆっくり通過していく | 車掌　あ、なにをモタモタしてるんですか… |
| 9 | 現われる鉄郎<br>瓦礫の向うからジャンプして——<br>炸裂するエネルギー弾 | |
| 10 | 駈け足している車掌<br>通過して行く列車<br>最後尾の車両INする<br>慌てて駈けて行く車掌<br>INしてくる鉄郎<br>追いかけてくる機械化兵士 | 車掌　あ——<br>早く早く早く早く！<br>早——く<br>あ——<br>あああ待ってくれ！ |
| 11 | 展望車<br>車掌手をのばし | 車掌　鉄郎さんッ！ |
| 12 | 走る鉄郎<br>ガッチリと掴む手 | |
| 13 | 渾身の力で鉄郎を引っぱり上げる車掌<br>エネルギー弾がかすめとぶ<br>力余ってひっくり返る二人 | |
| 14 | 廃墟のステーションを出て行く999号 | |

AR-5

15

| カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|
| 1 | 構内から出てくる999号 | |
| 2 | 線路端。蝗虫のようにとびながら線路を横切ってくる機械化兵 | |
| 3 | 驀進する999号 | |
| 4 | 線路端。転てつ器のポイントてこを切替える | |
| 5 | ポイント切替わる | |
| 6 | 同・俯瞰<br>二人の機械化兵 | |
| 7 | 更に大俯瞰<br>支線にPAN<br>その行く手を倒れたビルが塞いでいる<br>999号INしてくる | |
| 8 | 展望車<br>帽子押えて前方を見る車掌と鉄郎 | 車掌　ああっ、ポイントが！ |
| 9 | 急ブレーキかける<br>凄じい火花がとび散る | |
| 10 | 見守る機械化兵<br>前方現われる999号<br>左手前からとび込む老パ | |

15

| カット | 内容 |
| --- | --- |
| | ルチザン、銃床で兵の一人を殴り倒す |
| 11 | 振り向きざま射つ機械化兵<br>体当りしてくる老パルチザン<br>銃の尖端を単眼につき刺す |
| 12 | 進む999号 |
| 13 | 蹌踉として転てつ器に向う老パルチザン<br>ガクッと膝をおとす |
| 14 | ポイントUP<br>火花散らしてINする999号 |
| 15 | 老パルチザン、渾身の力でポイントを切り替える |
| 16 | 迫る999号<br>ポイント切替えている老パルチザン |
| 17 | 転てつ器<br>ガキッと切替える老パルチザン |
| 18 | ポイント切替わる |
| 19 | 頭上通過する999号 |
| 20 | 本線を走る999号 |
| 21 | 倒れ込んでいる老パルチザン<br>列車の窓の明りが傷だらけの背中に映って<br>ゆっくり向き直る老パルチザン |
| 22 | 通過する列車<br>見守る老パルチザン<br>最後に展望車がINする |
| 23 | 傷だらけの老パルチザン |
| 24 | 展望車の鉄郎と車掌<br>敬礼する車掌 |
| 25 | 遠去かる老パルチザン |

16

| カット | 内容 |
| --- | --- |
| 1 | 廃虚のメガロポリス<br>驀進して行く999号<br>手前破壊したビルがIN〜OUTして |
| 2 | 廃虚の中を驀進する999号<br>ライト十文字に長く伸びて—— |
| 3 | 上昇している線路 |

16

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| | 豆粒のような999号が瓦礫の蔭から現れる | |
| 4 | 上昇する999号 | |
| 5 | 通過する列車<br>橋脚がボロボロと崩れている | |
| 6 | 上昇する999号<br>崩れていく橋脚 | |
| 7 | 崩れていく橋脚 | |
| 8 | 愕然とする二人<br>捩れ崩れていく線路<br>俯瞰の廃虚 | |
| 10 | 捩れる線路と展望車 | |
| 11 | 上昇する999号 | |
| 12 | 崩れ落ちていく橋脚 | |
| 13 | 捩れ崩れていく線路 | |
| 14 | 上昇する999号<br>崩れ落ちて行く橋脚<br>ボロボロと塵芥のように<br>ゆっくりと――<br>地平線赤く染まる | 老パルチ（OFF）鉄郎… |
| 15 | 老パルチザン<br>風が吹き抜けていく | |

16

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| 15A | 夜空を見上げている老パルチザン<br>パイプの煙風に舞う | 老パルチの声　いつかお前が戻って来て、地球をとり戻した時…<br>大地を掘り返したら、わしらの赤い血が流れ出すだろう |
| 16 | 上昇する999号<br>まるで墓場のようなメガロポリス全貌 | |
| 17 | 老パルチザンUP | 老パルチの声　ここは我々の星だ<br>我々の大地だ…その赤い血を見るまでは…死ぬなよ… |
| 18 | 月が再び顔を出す<br>雲流れて―― | |
| 19 | 老パルチザンUP<br>一筋の赤い血が帽子の下からゆっくりと流れおちる | 老パルチの声　わしらの…せが…<br>れ…よ… |
| 20 | コトッと落ちるパイプ<br>靴にぶつかりバウンドして―― | |
| 21 | 息絶えている老パルチザン<br>遥か彼方を上昇して行く999号のシルエット | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
| --- | --- | --- | --- |
| 16 | 22 | 空間へとび出して行く999号<br>遥か地平線がポーッと赤く染まる<br>最後尾がとび立つ | |
| | 23 | 崩れて行く線路<br>手前から将棋倒しのように尖端がはね上る | |
| | 24 | ゆっくりと崩れていく線路<br>濛々と砂煙上げて—— | |
| 17 | 1 | 展望車の二人<br>次第に涙がこみ上げてくる鉄郎<br>車掌INして優しく手をかける<br>車掌に促されて車内へ入る鉄郎 | 鉄郎　にげるんじゃない<br>　　　俺はにげるんじゃないぞ<br>車掌　さあ<br>鉄郎　（泣き）かならず帰る |
| | 2 | 月光を浴びている屍 | |
| | 3 | 霧に包まれたメガロポリス全貌<br>左右からINする雲が視界を覆う | |
| 18 | 1 | 大雲海を行く999号<br>月が冴えわたっている夜空 | |

AR-6

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
| --- | --- | --- | --- |
| 19 | 1 | 太陽現われる<br>宇宙へ向って驀進する999号<br>地球、ゆっくりと遠去かって行く | |
| 20 | 1 | 展望車から見る地球 | |
| | 2 | 見つめる鉄郎<br>鉄郎の方へ向き直って<br>——が感極まり泣きもらす<br>ふり返る鉄郎 | 車掌　しかし、鉄郎さん、よくまァご無事で本当にお懐かしゅうございます…トホホホ…グスングスン…<br>そりゃそうと、パスはお持ちでしょうね？　トホホホ…グスン…<br>鉄郎　え?! |
| | 3 | 慌ててパスを探す鉄郎<br>車掌直立不動に戻って<br>パスを見せる鉄郎<br>のぞき込む車掌 | 鉄郎　あ！<br>車掌　職務上、パスがありませんと誰方もおのせ出来ませんので…<br>鉄郎　車掌さん、この前メーテルはどこで降りたの？ |
| | 4 | 車掌体を起し、帽子の廂に軽く手をやる | 車掌　それが、そのォ…あ、どうも |
| | 5 | ポケットにパスをしまう鉄郎<br>手のゼスチャーで | 鉄郎　やっぱり冥王星かい？<br>車掌　私の知らないうちに降りてしまわれて |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| | 6 | 展望車内部、沈黙流れて<br>――<br>鉄郎、再び窓外を見る | 車掌　気がついた時は一人旅、ま…一人旅も案外いいものですよ、ハイッ<br>ホホホ… |
| 21 | 1 | 驀進する999号 | |
| 22 | 1 | 扉UP<br>扉左方から右へ開いて<br>正面見てギクリとなる鉄郎 | 鉄郎　あっ |
| | 2 | メタルメナUP | |
| | 3 | 銃抜く鉄郎<br>車掌ギョッとなって慌てて鉄郎にしがみつく | 鉄郎　き、機械化人！<br>車掌　い、いけません、鉄郎さん！　この人はウエイトレスのメタルメナさんです |
| | 4 | 無表情のメタルメナ | |
| | 5 | 車掌と鉄郎<br>車掌、体を離して<br>鉄郎、ホルスターへ銃を収めながら苦笑する | 鉄郎　メタルメナ？<br>車掌　ハイッ、クレアさんの後任でして<br>鉄郎　そうだったのか… |
| | 6 | 歩き出すメタルメナ | |
| | 7 | 通路をあける鉄郎と車掌<br>メタルメナ、鉄郎の前で立ち止り、爪先から頭のてっぺんまでジロリと眺めて | メタルメナ　お客さん、もし食堂車へお越しでしたらその汚い身なりでは困ります<br>鉄郎　えっ |
| | 8 | スタスタと歩き去るメタルメナの後姿 | |
| | 9 | 唖然と見送る鉄郎<br>自分の姿をジロジロと見直してみる<br>車掌ものぞき込む<br>目と目がカチ合って<br>慌てて直立不動の姿勢をとり直し<br>体や帽子の埃を払う鉄郎<br>一瞬ギクリとして――<br>ズルズルと腕章がさがって―― | 車掌　不愉快でしょうが、我慢して下さい。時代が時代ですし、いまどき行先不明の列車のウエイトレスになる娘なんて、おいそれとは…<br>鉄郎　行先き不明!?　この列車が<br>車掌　ハイです |
| 23 | 1 | 遠去る999号<br>宇宙の彼方へ消えて行く | 車掌　(OFF)なにしろ、行先きは機関車しか知らないんですから<br>鉄郎　(OFF)そんな無責任な！<br>車掌　(OFF)申し訳ありませんです |
| 24 | 1 | 客車の中の車掌と鉄郎 | 車掌　イヤー、今の銀河鉄道がどうなっているのか、従業員の私にもわかりません |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 25 | 1 | 土星<br>驀進する999号<br>タイタン星が見えてくる | |
| 26 | 1 | 列車内・浴室<br>扉をいそぎ閉める車掌<br>車掌、汚れた上衣、ズボン等をつまんでいる<br>扉開いて鉄郎が覗く<br>立ち止る車掌<br>歩き始める車掌 | 鉄郎　(OFF)ちょ、ちょっと待ってくれよ、どうしても入んなきゃダメかい?<br>車掌　ハイッ、ごゆっくりどうぞ　汚れ物は洗濯しておきますから…<br>鉄郎　うん |
| | 2 | 窓から見た列車内浴室<br>OUTする車掌<br>不承々々(ふしょうぶしょう)の鉄郎、扉閉めて影が奥へ消える | |
| | 3 | 浴槽へ入るヌードの鉄郎<br>カメラの方を見て苦笑しながら腰をおろす<br>カーテン、自動的に閉まる。パアッと浴室内明るくなって――<br>ブラシのアームが二本出てやおらゴシゴシと洗いはじめる | |
| 27 | 1 | 冥王星全貌 | |
| | 2 | 列車の窓 | 鉄郎の声　冥王星か… |
| 27 | | ガラスの霜を手で拭う鉄郎 | |
| | 3 | 大氷原の上空を行く999号<br>氷原ピカッと鏡の如く光りながら | |
| | 3A | 氷の下の屍<br>シャドウが見上げている | |
| | 4 | 列車の窓<br>鉄郎ゆっくり顔の向きを変えながら | 鉄郎の声　…メーテルはここで降りたと思ってたのに… |
| 28 | 1 | 三等客車内部<br>窓外を眺めている鉄郎<br>右手をポケットに突込み何やら摑み出す | |
| | 2 | メッセージ・カード<br>握り拳(こぶし)をゆっくりと開く | |
| | 3 | 見守る鉄郎UP | |
| 29 | 1 | 髪ゆったりと靡(なび)かすメーテル<br>INしてくる999号<br>ゆっくりと消えていく<br>メーテルの幻影 | メーテルの声　(エコー)私はメーテル、鉄郎、スリーナインに乗りなさい |
| | 2 | 太陽系全貌 | |

30

| カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|
| 1 | 窓外から見た食堂車<br>頬杖をつき、外界を眺めている鉄郎<br>メタルメナが食事を運んでくる | |
| 2 | 同・内部<br>ガチャンと乱暴に置かれる食事<br>喜色満面の鉄郎<br>鼻をヒクヒクさせてステーキの薫りを嗅ぐ<br>思わず見上げる<br>見下ろしているメタルメナ | 鉄郎　うわ――<br>メタルメナ（OFF）人間って不便ですね<br>鉄郎　……<br>メタルメナ　そんな非衛生的なものを食べないとならないなんて |
| 3 | 鉄郎、〝ええ?〟といった表情で卓上の食事を見る | |
| 4 | 見おろしているメタルメナ<br>カプセル持った手がＩＮして―― | メタルメナ　その点、わたしたち機械化人はカプセルエネルギーを補給するだけですみます |
| 5 | カプセルＵＰ<br>青い炎が揺らめいている | |
| 6 | 鉄郎とメタルメナ<br>カプセル飲むメタルメナ | |

30

| カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|
| | 眼を細めて恍惚状態になる<br>喉元、腹部のメーターが順に点滅する<br>鉄郎気にせずフォークとナイフを手にとり、チャリンチャリン | メタルメナ　あ――<br>鉄郎　食べる愉(たの)しみもない食事なんてしようがないよ |
| 7 | メタルメナＵＰ<br>口元に微笑浮かべる<br>奥へ去るメタルメナ | メタルメナ　ウフフフ…<br>車掌（ＯＦＦ）おかしな娘(こ)だ |
| 8 | 車掌と鉄郎<br>奥から歩いて来て立ち止る車掌 | 車掌　スリーナインのウエイトレスになったのも、この世で一番素晴らしいモノを手に入れるためとか…<br>鉄郎　この世で一番素晴らしいもの? |
| 9 | 調理場<br>メタルメナ窓際へ歩み寄り、窓外を見やる | 車掌（ＯＦＦ）ハイ、でも私にはなんのことかさっぱり |
| 10 | 車掌と鉄郎<br>頭のてっぺんで手を組んで少々ノイローゼ気味である<br>スタスタ歩き去る<br>唖然と見送る鉄郎 | 車掌　ああ…今回はサッパリ分らないことばかりで私にはもう…そうだ、ひと風呂浴びてサッパリしよう<br>鉄郎　えっ!! |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 30 | 11 | 食事を始める鉄郎<br>ステーキを切る<br>口に運ぼうとして気にかかる | |
| | 12 | チラリと覗き見る鉄郎 | |
| | 13 | 窓際のメタルメナ | |
| 31 | 1 | 空間信号灯<br>黄色ランプ点滅させながら近付いてくる | |
| 32 | 1 | 機関車内部 | |
| | 2 | 激しく鳴るホイッスル | |
| | 3 | 自動レバー跳ね上る<br>手前UPから奥へ順に | |
| | 4 | 急ブレーキかける動輪<br>凄まじくとび散る火花 | |
| | 5 | 火花散らして走る999号 | |
| 33 | 1 | 窓から見た列車内浴室<br>駈け込んでくる鉄郎<br>急ブレーキで止まり、浴室の扉叩く | |
| | 2 | 同・車内<br>扉開けようとする | 鉄郎　車掌さんッ…車掌さんッ<br>車掌　ハ、ハイッ…<br>鉄郎　信号が黄色になってるんだよ！ |
| 33 | 3 | 扉UP<br>バタンと閉る扉 | 車掌　わー<br>い、いけません、開けては |
| | 4 | 唖然とする鉄郎<br>二、三歩後へ蹌踉めいて | 鉄郎　どうして!?　いいじゃないか、男同志なのに！ |
| | 5 | 浴室の扉<br>鉄郎、押し開けようと体ごとドシンドシンとぶつかる | 車掌の声　で、でも困るんです…とに角、すぐ行きますから<br>鉄郎　開けるなと云われるとなにがなんでも<br>車掌の声　い、いけませんッ |
| | 6 | 窓際から反動つけて扉に横跳びに体当りする<br>ひっくり返る鉄郎<br>その場へ坐り込んでしまう<br>ビクンと緊張する鉄郎 | よーし　それ<br>あー<br>うん<br>鉄郎　…なんだ、あの音は!? |
| | 7 | 窓外から見た列車内部<br>起き上る鉄郎<br>右から左方へ視線移動して | |
| | 8 | 999号<br>遥か後方に一条の光点が見える | |
| | 9 | ハッと息を呑む鉄郎<br>窓ガラスにペタッと貼りついて—— | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 33 | 10 | 黒い列車<br>ゆっくりと二筋の煙を吐き、青白い燐光発しながら近づいてくる | 声　（エコー）スリーナインに告げる。支線に入り本線をあけろ。我が列車の通過を妨げてはならない |
| | 11 | 999号<br>窓際の鉄郎から機関車へ | |
| 34 | 1 | 機関車内部<br>知力燃焼室へ | |
| | 2 | 知力燃焼室 | 機関車の声　シカシ、私ハ正規ノ軌道ヲ… |
| 35 | 1 | 迫る黒い列車<br>展望車から見たアングルで | 声　軌道を開けろ！　愚か者！ |
| 36 | 1 | 見守る鉄郎<br>窓外に黒い列車が見える<br>車掌、タオルで顔を拭きながらIN | 車掌　あああれは幽霊列車です――<br>鉄郎　ユウレイ列車？ |
| 37 | 1 | カーブして走る999号<br>黒い列車、左方に現われる<br>迫ってくる幽霊列車 | |
| | 2 | 驀進する幽霊列車 | |
| | 3 | 見守る鉄郎と車掌<br>窓外に現われる列車<br>窓ガラスにヒビが入る<br>慌てて床に伏せる二人 | 二人　わー |
| | 4 | 貨車、猛スピードで通過して行く | |
| | 5 | 唖然と立ち尽す鉄郎と車掌<br>幽霊列車のライトが鉄郎たちにWって―― | 車掌　あー |
| | 6 | 追い抜いて行く幽霊列車 | |
| | 7 | 窓外を通過して行く列車 | 鉄郎　車掌さん、あの列車、何を運んでいるんだい？<br>車掌　わ、分りませんよ、私にも |
| | 8 | 鉄郎UP | |
| 38 | 1 | 走り去る幽霊列車 | |
| 39 | 1 | 知力燃焼室<br>赤いコンピューターの眼からTB<br>INする車掌 | 機関車の声　未ダカッテ、他ノ列車ニ追イ抜カレタコトハナイノニ…ソレモ、アンナ得体ノ知レナイ列車ニ…口惜シイ、スリーナインノ恥ダ…本当ニ情ケナイ… |
| | 3 | 直立不動の車掌<br>目から大粒の涙を流している<br>感極まってズルリと腕章が落ちる。激しくメーター類点滅する | 車掌　トホホホ… |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 40 | 1 | 惑星空間を行く999号 | |
| | 2 | 宇宙空間に漂う破壊された貨車その他<br>999スライドINさせながら | 車掌の声　反乱の跡です<br>鉄郎の声　反乱!?<br>車掌の声　ハイ、トレーダー分岐点のあるヘビーメルダー周辺が特に活発でして… |
| | 3 | 窓外から見た客車<br>破壊された兵器類が後方へ流れていく<br>機械化兵も流れて行く<br>嬉しそうな顔の鉄郎 | 車掌　でも、やられたのはみんな機械化人の装甲列車や戦車ばかりでして<br>鉄郎　そうか!…宇宙には仲間がいるんだな |
| 41 | 1 | 同・客車内部<br>手前から奥へ歩き去る車掌、ハタッと立ち止まる<br>ふり返って | 車掌　そうそう忘れてました! |
| | 2 | 鉄郎と車掌 | 車掌　鉄郎さん、次の停車駅が分りましたよ! |
| | 3 | 直立不動の姿勢とる車掌 | 車掌　えー、次の停車駅は惑星ヘビーメルダー、ヘビーメルダー |
| 42 | 1 | 惑星ヘビーメルダー | 鉄郎の声　ヘビーメルダー?! |
| | 2 | スモッグに覆われた廃虚の大地 | 車掌の声　…の予定だったんですが、かつての大フロンティ |
| 42 | | 降下して行く999号 | アも今では激しい戦乱で大気が有毒化し、駅の施設も破壊されたため通過するとのことです、ハイ… |
| | 4 | 再び上昇していく999号 | 鉄郎の声　そ、そんな…<br>車掌の声　その代り |
| | 6 | 朽ち果てたトチローの墓<br>ボロボロの帽子が舞っている<br>上空行く999号 | 臨時にラーメタル星に停車するそうです<br>鉄郎　ラーメタル |
| 43 | 1 | 客車内の車掌と鉄郎<br>スモッグが吹きちぎれと び去る<br>列車の行手を見る鉄郎 | 鉄郎　ラーメタル!? |
| | 2 | 幽玄(ゆうげん)なるラーメタル星<br>青い霞がユラユラと漂っている | 車掌の声　ヘビーメルダーの衛星です。なんでも千年周期の楕円軌道を回っているそうでして、ハイ |
| 44 | 1 | 大雲海<br>雲間キラッと光で輝いて<br>―<br>雲海が切れ下界の緑の大樹海見えてくる | |
| | 2 | 緑の大樹海を驀進する999号<br>蛇行する河が輝く | |

| シーン | カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 44 | 3 | 樹海と大連峰<br>蛇行する河、キラキラと<br>輝いている | |
| | 4 | 驀進する999号<br>地平線の彼方に赤錆びた<br>ヘビーメルダーが眺望で<br>きる | |
| | 5 | 大峡谷に架けられたカタ<br>パルトレール<br>INしてくる999号 | |
| | 6 | カタパルトレールを走る<br>999号 | |
| | 7 | 峡谷を驀進する999号 | |
| | 8 | ラーメタル駅 | |
| | 9 | 構内（俯瞰）<br>ステーションに入って行<br>く999号<br>上空INする偵察ヘリコ<br>プター | |
| 45 | 1 | 同・構内<br>機械化兵の一団が銃を構<br>えている<br>足元に蒸気流れるように<br>INして——<br>停止している999号 | |
| 45 | 2 | 停止している999号<br>左右に並び銃を構えてい<br>る機械化兵 | スピーカーの声（エコー）ラー<br>メタル…ラーメタル<br>この駅で降りる乗客は、身<br>分証明書を見せ、所持品の<br>検査を受けよ。くり返す、<br>下車する乗客は身分証明書<br>を見せ、所持品の検査を受<br>けよ |
| 46 | 1 | 銃構えて身を伏せている<br>鉄郎<br>窓外歩き去る機械化兵 | 鉄郎　くそっ…この星も機械化人<br>に…<br>メタルメナ（OFF）ここはメー<br>テルさんの生れ故郷ですよ<br>鉄郎　な、なんだって!? |
| | 2 | 車掌とメタルメナ<br>挑発的なメタルメナとオ<br>ロオロする車掌 | メタルメナ　メーテルさんの生れ<br>故郷だといったんです |
| | 3 | 愕然とする鉄郎<br>目パチクリさせて—— | |
| | 4 | 車掌とメタルメナ<br>メタルメナOUT<br>見送る車掌、足元に目を<br>やる | メタルメナ　お疑いならご自分の<br>目でお確かめになることで<br>すね |
| | 5 | 這い出してくる鉄郎<br>前方を見る | |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
| --- | --- | --- | --- |
| 46 | 6 | 床板の蓋開けるメタルメナ | メタルメナ　ここからどうぞ！ |
| | 7 | 床を這う鉄郎<br>手前左上へOUTして行く | |
| | 8 | 車掌UP | 車掌　鉄郎さんッ |
| | 9 | 床へもぐる鉄郎<br>手前から急ぎ足でINする車掌<br>足元から見上げる鉄郎 | 車掌　おやめになった方が…こう警戒が厳しくては無理だと<br>鉄郎　大丈夫だよ |
| | 10 | 蓋閉めるメタルメナ | |
| 47 | 1 | 客車の下<br>腹這いに進む鉄郎<br>突如、水が流れおちる | 鉄郎　うぐっ！ |
| | 2 | ハッとふり返る機械化兵<br>ズブ濡れの鉄郎がじっとしている<br>スウーッと流れおちている水がひく | |
| | 3 | 列車の下の鉄郎<br>右方へOUTする足<br>左方へOUTする鉄郎 | |
| 48 | 1 | 駅前広場<br>機械化兵がウロチョロと | |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
| --- | --- | --- | --- |
| 48 | | 駐屯（ちゅうとん）している<br>左方から二人の機械化兵<br>INして—— | |
| | 2 | ラーメタルの街全貌<br>OUTする二人の機械化兵<br>眼下に広がる街と大自然 | |
| 49 | 1 | 走る足UP<br>裏町<br>走ってくる鉄郎<br>壁に映った影に慌てて反対側の軒下へとび込む<br>影、行ったり来たりしている | |
| | 3 | 走る足UP | |
| | 4 | 振り返る機械化兵 | |
| | 5 | 街中<br>慌てて立止る鉄郎<br>走りながら後退して猛ダッシュで路地へ走り込む。と同時に光芒走り、<br>足元に着弾<br>追いかける機械化兵 | |
| | 6 | 路地（フカン）<br>IN～OUTする機械化 | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 49 | | 兵<br>マンホールへ早いTU | |
| | 7 | マンホールの蓋 | |
| | 8 | 地下水道走る鉄郎の足 | |
| | 9 | 地下水道<br>走ってくる鉄郎 | |
| | 10 | 同・出口<br>奥へ向って走る鉄郎 | |
| | 11 | 外界。早いTBすると鉄柵 | |
| | 12 | 鉄柵の出口<br>鉄郎INして<br>腰おとして銃構える | |
| | 13 | 銃射ちまくる鉄郎 | |
| | 14 | 外から見た地下水道出口<br>鉄柵おちていく<br>奥から駈けて来て、慌てて立ち止る鉄郎 | 鉄郎　うわわわ！ |
| | 15 | 河に流れ落ちている下水<br>落下していく鉄柵 | |
| | 16 | 鉄郎、ゴクリと唾(つば)のみ込んで——<br>大きく深呼吸して、鼻をつまんで飛ぶ | |
| 49 | 17 | とび降りる鉄郎 | |
| | 18 | 落下していく鉄郎 | |
| | 19 | 水中へ没する鉄郎 | |
| 50 | 1 | 廃虚の村<br>連峰からTB<br>奥へ吹き抜けていく埃(ほこり)<br>風に吹かれながら鉄郎INしてくる<br>周囲見回しながら歩く<br>立ち止り体の向きをかえる | 鉄郎の声　一体、どこへ行ったらメーテルの消息が判るってんだ… |
| | 2 | ハッと振り仰ぐ鉄郎 | |
| | 3 | 壊れた給水塔<br>機械化兵が射つ | |
| | 4 | 転倒しながら応戦する鉄郎 | 鉄郎　うわー |
| | 5 | 火だるまで落下する機械化兵 | |
| | 6 | 走り出す鉄郎<br>落下した機械化兵、自爆する<br>廃屋の向う側からヘリコプター現われる。機銃発砲しながら追う | |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
| --- | --- | --- | --- |
| 50 | 7 | 追撃される鉄郎<br>ヘリコプターせり上ってくる。足元へ着弾<br>肩をぶち抜かれる | |
| | 8 | 倒れる鉄郎<br>蝗虫のように跳んでIN する機械化兵たち<br>一人が銃構え鉄郎に狙いを定める | |
| | 9 | 立ち上る人影（ミヤウダー）銃乱射しながら | |
| | 10 | 火を吹いて倒れる兵 | |
| | 11 | 崖の上の人影 | |
| | 12 | 逃げる機械化兵<br>光芒が集中して爆発する兵 | |
| | 13 | 意識朦朧（もうろう）の鉄郎<br>〈ヘリコプターの影が覆う | 鉄郎の声　…メーテル… |
| | 14 | 撃墜されるヘリコプター<br>集中する光芒<br>空中爆発 | |
| 51 | 1 | 黄昏（たそがれ）のラーメタル星<br>地平線の彼方に赤く染る<br>〈ビーメルダー〉 | |

AR-9

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
| --- | --- | --- | --- |
| 52 | 1 | 洞窟内部<br>ミヤウダーが何やら作っている | |
| | 2 | 鉄郎のUP<br>意識が次第に戻っていく | 鉄郎　あっ |
| | 3 | ミヤウダーの後姿<br>フォーカス移動して正常に戻っていく | |
| | 4 | 簡易ベッドに寝ている鉄郎<br>ガバッと身を起す<br>思わず肩口の傷をうっとおさえる<br>ミヤウダーの台詞に改めて自分の体を見直すと上半身裸に包帯が巻いてある<br>ミヤウダーの方を見て | ミヤウダ（OFF）傷の具合はどうだ…？ |
| | 5 | ミヤウダーの後姿 | |
| | 6 | ベッドの上の鉄郎 | 鉄郎　…君が手当してくれたのか?! |
| | 7 | ミヤウダーUP、肩越しにちらりと振り向く | ミヤウダー　ああ… |
| | 8 | 炉辺のミヤウダーと鉄郎 | 鉄郎　ありがとう…俺の名は…<br>ミヤウダー　星野鉄郎、銀河鉄道 |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 52 | | INする鉄郎<br>ミヤウダーの台詞に〃あれ、どうして知っているの〃といった表情になる | の乗客だろ? |
| | 9 | 上衣の上におかれたパスとコスモドラグーン | |
| | 10 | 炉辺の鉄郎とミヤウダー<br>傍の皿をとりシチューを汲む | ミヤウダー　念のため、調べさせてもらったぜ<br>ミヤウダー　俺はアンドラード星の |
| | 11 | ミヤウダー、シチューの皿を差し出す<br>鉄郎の手INして皿をうけとる | ミヤウダー　ミヤウダー |
| | 12 | シチューを飲む鉄郎<br>〃ウヘッ!〃と思わずなるが無理して飲み込む | 鉄郎　うぐっ… |
| | 13 | ニヤッと笑うミヤウダー | ミヤウダー　地球人の口には合わないらしいな |
| | 14 | 苦虫を噛む鉄郎<br>口を拭う | パルチザン隊長の声　(エコー)<br>みんな聞け! |
| 53 | 1 | ヌーッと立ち上る隊長 | 隊長　今、我々の戦いは今日非常に苦しい状況のもとにおかれている |
| | 2 | 洞窟内・大広場 | 我々は絶望しそうになる… |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 53 | | 演説する隊長と疲労困憊のパルチザンたち<br>岩から見下ろしているミヤウダーと鉄郎 | だが我々は戦いをやめるわけにはいかない。よく聞いてくれ…我々は人間だ。血の通った人間だ、わずかでも希望がある限り、わずかでも可能性がある限り人間は戦う…昔から戦って来た! |
| | 3 | 唖然と見下しているミヤウダーと鉄郎<br>ゆっくりTU—— | |
| | 4 | パルチザンたち<br>中央の隊長卓上のジョッキ掴むと高くかざして<br>——<br>隊長グイと飲む | 隊長　さあ、みんな、盃を上げろ!人間の未来の為に歌おう! |
| | 5 | 歌いはじめる隊長<br>空になったジョッキを振りながら調子をとる | |
| | 6 | パルチザンたち<br>片眼の大男、ジョッキを掴んで立ち上る。飲み干す<br>手前立ち上るパルチザン | |
| | 7 | 立ち上るパルチザンたち<br>岩上の鉄郎とミヤウダー | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 53 | 8 | 歌う隊長 | |
| | 9 | 歌うパルチザンたち<br>全員ジョッキを振りながら調子をとって | |
| | 10 | 見おろすミヤウダーと鉄郎 | |
| | 11 | 鉄郎とミヤウダー | ミヤウダー　俺も…何度挫(くじ)けそうになったか… |
| | 12 | 振り向く鉄郎 | 鉄郎　えっ |
| | 13 | ミヤウダー | ミヤウダー　でも、その度に、自分にこういい聞かせて来たんだ。俺には大勢の仲間がいる |
| | 14 | 広場全景<br>歌うパルチザンたちの姿がある | |
| | 15 | ミヤウダーの横顔UP<br>鉄郎を見つめるミヤウダー | ミヤウダー　…その中には、機械化母星を破壊した奴もいるんだって…<br>鉄郎　でも、あれで終りじゃなかったんだ… |
| | 16 | 鉄郎、口惜しい気持ちが甦ってくる<br>振り向く鉄郎 | 鉄郎　てっきり終ったと思ってたのに…<br>ミヤウダー　(OFF)そうか！ |
| 53 | 17 | 鉄郎とミヤウダー<br>ミヤウダー、体の向きを変えて<br>頷く鉄郎<br>ミヤウダー近寄り、肩に手を置く<br>突如画面ブレと同時に土砂が降る | ミヤウダー　星野鉄郎って名前、どこかで聞いた名だと思ってたが…じゃお前が!?<br>ミヤウダー　俺は大変な大物を助けたわけだな<br>声　敵しゅう―― |
| 54 | 1 | 洞窟入口<br>爆発する<br>戦闘ヘリコプターが発砲しながら旋回する | |
| | 2 | 装甲車。サーチライト照らしている<br>現われる機械化兵、蝗虫のように跳びながら | |
| | 3 | 岩山を続々と跳んで上って行く機械化兵<br>サーチライトの光芒の中を―― | |
| 55 | 1 | 洞窟入口<br>降り注ぐ土砂<br>その向うから戦闘ヘリ現われる。機銃発砲しながら―― | 隊長　射って射って射ちまくれ |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 55 | 2 | 応戦するパルチザン<br>一人が吹っとぶ | パルチ　うわー |
| | 3 | 爆発するヘリコプター<br>光芒が集中して――<br>火を噴きながら落下していく<br>もう一機は慌てて引き返して行く<br>すると今度は機械化兵が銃を射ちながら現われる | |
| | 4 | 応戦する隊長とパルチザンたち | |
| | 5 | 闇の中の光芒戦<br>両者の光芒が入り乱れる<br>突入していく機械化兵爆発 | |
| | 7 | 洞窟内部・通路<br>とび出す鉄郎<br>手がINして引き戻す | ミヤウダー　(OFF)あわてるな、鉄郎！ |
| | 8 | ミヤウダーと鉄郎<br>鉄郎引き戻されて | ミヤウダー　機械化人は暗闇でも目が見えるぞ！　ジッとしていれば敵は動く… |
| | 9 | 鉄郎とミヤウダー<br>じっと耳をすます鉄郎 | 敵の方から近づいてくる！ |
| 55 | 10 | 闇の通路 | |
| | 11 | 耳をすますミヤウダー<br>耳がピクンと立つ | |
| | 12 | 横っとびに通路へ出る二人 | ミヤウダー　いまだ！ |
| | 13 | 射つ二人 | |
| | 14 | 闇。吸い込まれて行く光芒<br>ポッと青い炎を噴いて機械化兵F1。倒れていく兵<br>手前から走り込んでいく二人、機械化兵をとび越えて奥へ――<br>次々に自爆する | |
| 56 | 1 | 走る二人の足<br>蔦(つた)のからまるやぶのシルエット | |
| | 2 | 夜の岩山（アジト） | |
| | 3 | 森。走ってくる鉄郎とミヤウダー | |
| | 4 | そびえる古城<br>視界開けてくる | |

57

| | 画面 | セリフ |
|---|---|---|
| 1 | 同・城門<br>走り込んで行く鉄郎とミヤウダー | |
| 2 | 城内 | |
| 3 | テラス（夜の湖が眺望できる）<br>石柱にもたれかかって肩で息している二人<br>ヘナヘナとその場へ座り込んでしまう<br>鉄郎、ミヤウダーの方を覗き見るように<br>周囲を眺めまわす鉄郎<br>音にびっくり跳び起きるミヤウダーの方へふり向く | 鉄郎　どこだい、ここは？<br>ミヤウダー　さあな、俺にも分らないよ<br>鉄郎　な、なんだ!?<br>ミヤウダー　慌てるなよ… |
| 4 | ミヤウダー、ポケットからオルゴール時計をとり出す<br>安心した鉄郎、ホルスターへ銃を収める | 鉄郎　あ<br>ミヤウダー　ほらこれだよ… |
| 5 | 銀の懐中時計、ピカッと輝いて—— | ミヤウダー　（OFF）親父の形見さ… |
| 6 | ミヤウダーと鉄郎<br>時計ブラブラさせながら | ミヤウダー　…お袋と一緒に機械化人に殺されちまったんだ　アンドラードの闘いで… |

57

| | 画面 | セリフ |
|---|---|---|
| | | 鉄郎　……<br>ミヤウダー　鉄郎、お前の家族は<br>鉄郎　同じさ、母さんを機械人に |
| 7 | テラスの二人<br>鉄郎、石柱によりかかって虚空を見つめる<br>鉄郎、所在なげに歩いてくる | ミヤウダー　親父さんは？<br>鉄郎　母さんの話じゃ死んだらしい…機械化人と戦ってな…<br>ミヤウダー　そうか…似てるんだな俺たち…でもどういう訳でこの星に降りたんだ？<br>鉄郎　人を捜してるんだ…<br>ミヤウダー　人を？ |
| 8 | 暗い室内が見える<br>歩いて行く鉄郎<br>立ち上るようにして石柱の蔭から奥へ行くミヤウダー<br>鉄郎の前に立ち止って | 鉄郎　メーテルって云うんだけど聞いたことないか？<br>ミヤウダー　（OFF）メーテル？　あのプロメシュームの娘のメーテルか<br>ミヤウダー　殺るんなら手を貸すぜ |
| 9 | 鉄郎とミヤウダー | 鉄郎　殺る？<br>ミヤウダー　そうなんだろ？　だって今、プロメシュームと呼ばれてるのは、メーテルだもんな |
| 10 | 晴天の霹靂の鉄郎 | 鉄郎　ええっ… |

57

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| 11 | 真俯瞰の二人<br>ゆっくり歩み、室内へ入って行く | ミヤウダー　なんだ、知らないのか？　メーテルはプロメシュームの跡を継いだって噂だぜ<br>鉄郎　ウ、ウソだ！ |
| 12 | 鉄郎とミヤウダー<br>立ち止り振り向いている<br>ミヤウダー<br>猛然と突込んでくる鉄郎 | ミヤウダー　俺は確かに聞いたんだよ、メーテルがプロメシュームだって！<br>鉄郎　云うなァー！ |
| 13 | 殴る鉄郎<br>吹っとぶミヤウダー<br>尻もちつくミヤウダー | ミヤウダー　あいたッ！ |
| 14 | 愕然となる鉄郎UP | |
| 15 | 暗闇に浮び上る大フレスコ画 | 鉄郎　あー |
| 16 | 立ちつくす鉄郎 | |
| 17 | 更に俯瞰で見た鉄郎 | |
| 18 | 女王の肖像画 | ミヤウダー　（ＯＦＦ）どうした!?<br>鉄郎… |
| 19 | 暗闇の中の大広間<br>ミヤウダー、思わず正面の肖像画をふり仰ぐ | 鉄郎　プロメシュームにそっくりなんだ…<br>ミヤウダー　なんだって!?　それじゃ、この城は… |
| 20 | 眺める二人 | |

57

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| | 何気なく左方を見る鉄郎<br>駈け出しＯＵＴ<br>振り向くミヤウダー | |
| 21 | 階段の見える回廊<br>走り込んで行く鉄郎、昇り口で立止り、見上げる | |
| 22 | 愕然となる鉄郎 | |
| 23 | 幻影のメーテルが微笑んでいる<br>中ＯＬで肖像画に戻る<br>駈け込んでくる鉄郎、仰ぎ見る | |
| 24 | 立ちつくす鉄郎<br>見守るミヤウダー | 鉄郎の声　（エコー）メーテル！ |
| 25 | 湖畔に聳え立つ古城<br>夜の湖キラキラと輝いて | |
| 26 | 振り返る鉄郎<br>ミヤウダー、三、四歩奥へ駈けて<br>左方へ走りながらＯＵＴするミヤウダー<br>踊り場から駈け下りてくる鉄郎 | ミヤウダー　どうした？<br>鉄郎　スリーナインの発車時間なんだ<br>ミヤウダー　よし、俺が送ってやる！　来い鉄郎！ |
| 27 | 階段。立ち止り、ふり返 | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
| --- | --- | --- | --- |
| 57 |  | る<br>踵返し駈け降りる | 鉄郎 …… |
|  | 28 | 走り去る鉄郎 |  |
|  | 29 | 肖像画。ゆっくりTU |  |
| 58 | 1 | 再び山岳戦展開される<br>爆発あちこちで起り、吹っとぶパルチザン | パルチ うわー |
|  | 2 | 走り去る鉄郎とミヤウダーの足 |  |
|  | 3 | 岩蔭へとび込む二人<br>頭上を戦闘ヘリコプターが数機OUTして行く |  |
|  | 4 | 岩蔭のミヤウダーと鉄郎<br>二人共肩で荒い息をしながら<br>轟音にびっくりする二人<br>仰ぎ見る | ミヤウダー だめだ！ これじゃ、とても突破出来ないぞ…<br>鉄郎 うん |
|  | 5 | 屹立（きつりつ）する岩壁<br>上空へ舞い上って行くヘリコプター、爆発<br>火を吹いて落下していく |  |
|  | 6 | 仰ぎ見る二人 |  |
|  | 7 | ゆっくり姿を現わすアルカディア号 |  |
| 58 | 8 | 見上げる鉄郎とミヤウダー | 鉄郎 キャプテン・ハーロックだ！ |
| 59 | 1 | 全貌現わしていくアルカディア号、パルサー砲発射しながら――<br>爆破されるヘリコプター |  |
|  | 2 | 爆破される装甲車 |  |
|  | 3 | 爆破される装甲車<br>その向うから突進してくるアルカディア号<br>戦闘ヘリ、火を吹いて落下していく<br>サーチライトを照らしている |  |
|  | 4 | 応戦する機械化兵<br>アルカディア号INして<br>風圧で飛ばされる機械化兵 |  |
|  | 4A | 艦橋に立つハーロック |  |
|  | 5 | 低空飛行のアルカディア号、パルサー砲発砲しながら<br>戦闘ヘリコプターINして――<br>爆破して火を吹きながら落下するヘリコプター |  |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
| --- | --- | --- | --- |
| 59 | 6 | 破壊された装甲車やヘリコプターが炎上している<br>走り込んでくるミヤウダーと鉄郎<br>エアサイドカーにとびのる二人 | ミヤウダー （OFF）よし、あれをいただこうぜ！ |
| | 7 | エアサイドカーの二人<br>見上げる鉄郎 | |
| | 8 | 艦尾に立つハーロック | |
| | 9 | 上昇するアルカディア号 | |
| | 10 | 見送るパルチザンの隊長と同志たち<br>遥か眼下に早暁を迎えたラーメタルの街が見える | |
| 60 | 1 | 早暁のラーメタル駅<br>エアサイドカーINして停る<br>サイドカーから降りる鉄郎 | ミヤウダー …それじゃな、鉄郎<br>鉄郎 ああ… |
| | 2 | ミヤウダーと鉄郎<br>コントロールレバーを握るミヤウダー | ミヤウダー 俺より先に死ぬなよ、男の約束だぞ！<br>鉄郎 いいとも… |
| | 3 | 振り向くミヤウダー | ミヤウダー お前のパンチ、効い |

AR-11

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
| --- | --- | --- | --- |
| 60 | | たニヤッと目を細めて笑う走り出すサイドカー | ぜ |
| | 4 | 見送る鉄郎<br>OUTするエアサイドカー<br>踵返して階段を駈け上って行く<br>立ち止って振り返る鉄郎<br>叫ぶ | 鉄郎 死ぬなよ！ |
| | 5 | 走り去るエアサイドカー | 鉄郎 （OFF）ミヤウダー！ |
| | 6 | 鉄郎<br>車掌が立っている | 鉄郎 …… |
| 61 | 1 | 駅の構内<br>走り込んでくる車掌と鉄郎 | 車掌 そうですか…やっぱりメーテルさんには逢えなかったんですか… |
| | 2 | 停車している列車<br>走ってくる鉄郎と車掌<br>デッキに足をかけ、何気なく正面を見る | |
| | 3 | 停車している999号<br>豆粒ほどのシルエットがチラチラしている | |
| | 4 | 鉄郎 | |
| | 5 | 豆粒ほどのシルエット | |

| シーン | カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 61 | 6 | 目を凝らす鉄郎 | |
| | 7 | ゆっくり歩いてくるメーテル、髪靡かせて激しく蒸気吐き出し姿消す | |
| | 8 | 目を見はる鉄郎 | 鉄郎 …メーテル!? |
| | 9 | 蒸気の中に立つメーテル。手前の蒸気切れて顔が現われる | |
| | 10 | 走る鉄郎 | 鉄郎 メーテルーッ |
| | 11 | 蒸気の中のメーテル紗かけて―― 蒸気が顔を覆ったり引いたりしながら―― | |
| | 12 | 走る鉄郎。見守る車掌 | |
| | 13 | 対峙するメーテルと鉄郎 | メーテル ―― 鉄郎 ―― |
| | 14 | 鉄郎 | |
| | 15 | メーテル | |
| | 16 | 見つめ合う二人 | |
| | 17 | 蒸気が二人を覆う 激しくホイッスルが鳴る | |
| 62 | 1 | ラーメタル星に陽が昇る 左右に開く岩壁 | |
| 62 | | 蛇行する河キラキラと輝いて―― | |
| | 2 | 大峡谷 カタパルトレールを上昇していく999号 | |
| | 3 | 朝焼けの空に上昇する999号 | |
| | 4 | ラーメタル星全貌 上昇する999号 崖上のミヤウダー | |
| | 5 | 見送るミヤウダー 風に吹かれて―― | |
| 63 | 1 | 憂愁のメーテルUP | |
| | 2 | 鉄郎 | |
| | 3 | メーテルUP | メーテル …元気だった? |
| | 3A | 鉄郎 | |
| | 4 | メーテル | |
| | 4A | 鉄郎、メッセージカードを差し出す | |
| | 5 | メッセージカードを受けとるメーテル | メーテルの声 私はメーテル。鉄郎、スリーナインに乗りなさい… |

| シーン | カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 64 | 1 | 走る客車 | |
| 65 | 1 | 鉄郎の手にメッセージカードを戻すメーテルの手 | |
| | 2 | メーテルUP | メーテル　どこでもいいわ、あなたの好きなところでスリーナインを降りなさい |
| | 3 | 鉄郎 | メーテル　(OFF)…あなたさえその気なら、機関車さんに頼んで何処かの惑星に… |
| 66 | 1 | 回想。肖像画UP | ミヤウダーの声　(エコー)なんだ、知らなかったのか? |
| | 2 | 踊り場の肖像画 | メーテルはプロメシュームの跡を継いだって噂だぜ |
| | 3 | 回想。鉄郎とミヤウダー | |
| | 4 | 殴る鉄郎<br>ふっとぶミヤウダー、尻もちをつく | 鉄郎の声　ウソだッ! |
| 67 | 1 | ガバッと立ち上る鉄郎 | |
| | 2 | メーテルUP、顔あげて | メーテル　…… |
| | 3 | 見つめ合う鉄郎とメーテル<br>いたたまれず、その場を離れる鉄郎 | メーテル　鉄郎 |

AR-12

| シーン | カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 67 | 4 | 鉄郎の足<br>手前に足OUTして<br>奥の扉少し開いている | |
| | 5 | 覗いていたメタルメナ扉をそっと閉める | |
| | 6 | デッキ。窓ガラスに肘をつき、顔埋め窓外を見ている鉄郎 | 鉄郎　…メーテル… |
| 68 | 1 | 戦闘艇現われる<br>ゆっくりとスライドさせて――<br>ライトがついている | 黒騎士の声　聞けスリーナインとその乗客よ! 私は銀河鉄道を支配する黒騎士ファウストだ…直ちにコントロールセンターへ向え… |
| 69 | 1 | 列車内を走る鉄郎と車掌 | 車掌　えらいこっちゃ、えらいこっちゃ! |
| | 2 | 炭水車<br>客車の扉開いて――<br>更に炭水車の入口も開く | |
| | 3 | 炭水車内部<br>扉開いてその向うに機関車焚口部分が見える | |
| | 4 | 機関車・焚口<br>蓋開いて―― | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 70 | 1 | 同・内部<br>とび込んでくる車掌と鉄郎 | 車掌　機関車さん、どうします!? |
| | 2 | 知力燃焼室 | 機関車の声　要求ニハ、従エマセン。ダイヤガ乱レマス |
| 71 | 1 | 驀進する999号<br>ゆっくり降下しながら伴走する戦闘艇<br>蓋ゆっくり開いてセンサー連動砲がせり上ってくる | 黒騎士の声　今、この鉄道を支配しているのは私だ、銀河鉄道管理局ではない。私の命令に従わぬというのなら、スリーナイン、お前を破壊しなければならない |
| | 2 | センサー砲<br>方向変えて発砲 | |
| | 3 | 威赫射撃する戦闘艇 | |
| 72 | 1 | 鉄郎にしがみつく車掌<br>激しい画面動 | 車掌　ウヒォウヒォ… |
| | 2 | 知力燃焼室 | 機関車の声　私ハ機関車C62の48、良心ニ背クコトハ出来ナイ…出来ナイ… |
| | 3 | 尻もちついている鉄郎と車掌<br>激しくメカが点滅して焚口からメーテルが入ってくる | メーテル　機関車さん、云うことを聞きなさい |
| | | 立ち上る二人 | 鉄郎　メーテル! |
| | 4 | メーテル | メーテル　他に方法はありません |
| 73 | 1 | コントロールセンター全貌<br>INする999号と上空を伴走する戦闘艇 | |
| | 2 | 驀進する999号<br>戦闘艇とび去る | |
| | 3 | コントロールセンター入口<br>ゆっくり鉄扉が閉る | |
| 74 | 1 | 同・ステーション内部<br>停車している999号<br>機関車運転席の扉開いて鉄郎降りてくる<br>途中からとび降りる鉄郎<br>続いてメーテルが降りてくる<br>鉄郎、用心深く周囲を見回す<br>車掌降りてくる<br>声に思わず足すべらし落下する車掌<br>身構える鉄郎 | 黒騎士の声　乗務員は降りる必要はない |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 74 | 2 | 起き上る車掌<br>慌てて戻る車掌<br>扉を閉じてしまう | 車掌　し、しかし、私には乗客を守る義務が<br>黒騎士の声　その必要はないのだ<br>車掌　ハ、ハイッ！ |
| | 5 | 闇の中へ向う表示の光<br>手前からＩＮする鉄郎とメーテル | 黒騎士の声　表示(サイン)に従って歩け |
| | 6 | 見送る車掌<br>そっとデッキから顔を覗かせる | |
| | 7 | 暗闇の中へ歩き去る二人 | |
| 75 | 1 | コントロールセンター外観<br>浮遊する隕石 | |
| 76 | 1 | 円型板の上のメーテルと鉄郎 | |
| | 1A | 昏(くら)い広間<br>足元を見ている鉄郎<br>左右の様子を眺め、正面を見てギクリとする | 鉄郎　ギョ！ |
| | 2 | プロメシュームのレリーフ<br>顔の中、青白い光 | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 76 | 3 | 鉄郎とメーテル | 鉄郎　プロメシューム！ |
| | 4 | 広間の鉄郎とメーテル<br>怒鳴(どな)る鉄郎 | 黒騎士の声　女王プロメシューム陛下こそ、真に偉大な宇宙の支配者、その名は永遠に不滅だ<br>鉄郎　冗談じゃない！　プロメシュームはたしかに死んだんだ！ |
| | 5 | 鉄郎とメーテル | 鉄郎　そうだろ、メーテル |
| | 6 | メーテルＵＰ、鉄郎を見る哀しい表情 | メーテル　…… |
| | 7 | プロメシュームのレリーフ<br>光の中に立つ黒騎士のシルエット | |
| | 8 | ハッと振り向く鉄郎 | 鉄郎　…… |
| | 9 | 鉄郎とメーテル | |
| | 10 | ゆっくり歩み寄ってくる黒騎士 | |
| | 11 | 鉄郎とメーテル | |
| | 12 | 更に歩み寄ってくる黒騎士 | |
| | 13 | 鉄郎とメーテル | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 76 | 14 | 更にUPして――止まる<br>――間―― | |
| | 15 | 対峙する黒騎士と鉄郎 | 鉄郎　お前が黒騎士ファウストか!? |
| | 16 | 見下ろす黒騎士 | 黒騎士　鉄郎 |
| | 18 | 見下ろす黒騎士、ゆっくりとTU | 鉄郎（OFF）なんだよ！なんで俺をそんなに見つめるんだ!? |
| | 19 | ふり向くメーテル | |
| | 20 | 対峙する二人<br>INする鉄郎<br>鉄郎、後へとび退きながら銃を抜く | 鉄郎　やめろったら！ |
| | 21 | 黒騎士UP。目ピカッと光って―― | |
| | 22 | 消える鉄郎<br>床が一瞬ピカッと光ってその中へ吸い込まれてしまう<br>思わず駈け寄るメーテル | 鉄郎　うわッ！<br>メーテル　あ、鉄郎！ |
| | 23 | メーテルと黒騎士 | メーテル　ファウスト、鉄郎をどうするつもりなのです!?<br>黒騎士　ご心配なく。しばらくの間、時間の彼方へ旅をさせてやるだけです |

AR-13

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 76 | 24 | メーテルと黒騎士<br>鉄郎が消えたあたりを見るメーテル | メーテル　!?　過ぎ去った！　時間?! |
| | 25 | メーテルと黒騎士 | |
| 77 | 1 | アブストラクトな空間<br>落下して行く鉄郎 | |
| 78 | 1 | ズボッと突き出る手UP<br>とび散る雪 | |
| | 2 | ズボッと突き出る顔UP<br>とび散る雪 | |
| | 3 | ズボッと突き出る足UP<br>とび散る雪 | |
| | 4 | 雪が降っている<br>雪に半身を埋めた鉄郎天を仰いでいる<br>鉄郎、コスモドラグーン銃を拾いながら起きあがる | 鉄郎　…フーウ、どうなっちゃったんだ!?　まったく |
| | 5 | 起き上る鉄郎 | 鉄郎　…どこだろうか、ここは……? |
| | 6 | 雪の野原<br>立ちつくす鉄郎 | |
| | 7 | 雪の中を歩く鉄郎<br>周囲を見回しながらIN | |

| 78 | | |
| --- | --- | --- |
| | してくる<br>ハッと立ち止る | |
| 8 | 眼下を歩いて行く人影二つ<br>手を振る鉄郎 | 鉄郎　おーい！ |
| 9 | 雪の斜面を駈け降りる鉄郎 | 鉄郎　おーい！ |
| 10 | 駈け降りて行く鉄郎<br>かなり近付いた処で足をとられて雪の中へつんのめる鉄郎 | 鉄郎　待ってくれよオー<br>おーい<br>鉄郎　うわッ！ |
| 11 | 起上って雪を払う鉄郎<br>手前、人物がINしてくる。鉄郎、笑いながら見やる | 鉄郎　へへへ…（照れ笑い） |
| 12 | 愕然となる鉄郎UP<br>一瞬にして笑顔が消え失せて | |
| 13 | 母親<br>画面を横切って行く懐かしい顔 | 鉄郎の声　（エコー）か、母さん<br>…それに俺だ！ |
| 14 | 10才時の鉄郎<br>画面を横切って行く自分の顔 | |
| 15 | 母子の後姿OUTしてい | |

| 78 | | |
| --- | --- | --- |
| | く | |
| 16 | 呆然と立ちつくす鉄郎<br>ゆっくりTB | 鉄郎の声　そうか、思い出したぞ<br>！ |
| 17 | 更に回想<br>射たれる母親 | |
| 18 | 追う鉄郎、走ってIN〜OUT | 鉄郎の声　これは、母さんが殺される前の日の晩だ |

| 79 | | |
| --- | --- | --- |
| 1 | 粗末な山小屋<br>うっすらと煙が立ちのぼっている<br>窓際に鉄郎立っている | 鉄郎(10才)声　寒いなァ、ちっともあったかくならないや<br>母の声　ここへいらっしゃい |

| 80 | | |
| --- | --- | --- |
| 1 | 窓越しの鉄郎 | 母の声　母さんが暖めてあげるわ |
| 2 | 鉄郎をマントに包み込む母<br>煖炉の火燃えて—— | 鉄郎　わァ、あったかいな、母さんって<br>母　そう |
| 3 | 窓越しの鉄郎 | 鉄郎の声　母さんと一緒の最後の夜だ。この時、母さんはまだ生きていた… |
| 4 | 母と子 | 鉄郎の声　あったかい手で僕を抱いてくれた… |
| 5 | マントに包まれた鉄郎<br>母の手が優しく愛撫する | 鉄郎(10才)　母さん、いよいよ明日はメガロポリスに着くん |

80

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| | 優しく見守る母 | だね！　僕、一生けん命母さんを手伝ってバスを買うんだ！　一緒にスリーナインに乗ろうね、母さん！<br>母　ええ、勿論(もちろん)よ |
| 6 | 扉<br>廂(ひさし)の雪が落ちる | |
| 7 | 窓際の鉄郎 | 鉄郎の声　そうだ！　今のうちに知らせておけば母さんは死なずにすむ！　時の流れを変えることが出来るかもしれない！ |
| 8 | 谷間。吹雪である | |
| 9 | 扉を叩くように押す鉄郎 | 鉄郎の声　母さんッ、僕だよ、鉄郎だよ！ |
| 10 | 母と子 | |
| 11 | 扉。バタンバタンと両手で必死に叩く | 鉄郎の声　母さんこのドアを開けてよ！　母さん！ |
| 12 | 母と子<br>窓の方を見やる母<br>スヤスヤと眠っている鉄郎。優しく髪を愛撫する母 | (子守歌)<br>母　あ、風が出てきたようね<br>鉄郎　かあさん　このドアあけてよ。はやく、かあさん |
| 13 | 谷間<br>馬に乗った人物がFIする | |
| 14 | 扉を叩く鉄郎 | 鉄郎の声　母さんッ、ここを開けてよ！ |
| 15 | 雪に埋れた小屋 | 母さんったら！(泣きながら叫ぶ)　あけてくれ！ |

81

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| 1 | 吹雪の中を走る鉄郎の足 | |
| 2 | 現われる機械伯爵たち<br>雪煙けちらして | |
| 3 | 銃を抜き仁王立ちの鉄郎<br>銃射ちまくる | 鉄郎　やめろ！　母さんを殺すな！ |
| 4 | 走る馬上の機械伯爵<br>光芒がつき抜ける | |
| 5 | 突っ走る馬<br>反動でひっくり返る鉄郎 | 鉄郎　うわっ |
| 6 | 走る母と子 | |
| 7 | 銃構える伯爵 | 鉄郎　(OFF)やめろ！ |
| 8 | 追う鉄郎 | 鉄郎　射つな！　母さんを殺さないでくれ！ |
| 9 | 走る馬、OUTすると鉄郎INしてくる | 鉄郎　殺さないでくれーっ！ |
| 10 | 火を吹く銃 | |
| 11 | 走る光芒<br>のけぞる母の後姿 | |

81

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| 12 | 立ちつくす鉄郎<br>UPから身を引いて | 鉄郎　か、母さんッ… |
| 13 | 舞う髪<br>フードがはずれ髪が舞う。ゆっくりと倒れていく母 | |
| 14 | ガクッと膝おとす鉄郎絶叫する<br>左右からプラズマが走り鉄郎を包む | 鉄郎　か、母さん…<br>かあさーん… |

82

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| 1 | メーテルと黒騎士 | |
| 2 | 床。一瞬光って現われる鉄郎。胎児のように体を丸めて―― | |
| 3 | メーテルと黒騎士<br>メーテル、膝を折るようにOUT | メーテル　あ　鉄郎!… |
| 4 | 朦朧としている鉄郎 | 黒騎士　どうだ鉄郎、過去を見た感想は? |
| 5 | 見おろす黒騎士 | 黒騎士　あれは…悲劇だった |
| 7 | 起き上る鉄郎<br>肩越しにふり返り睨みつける鉄郎 | 黒騎士　たとえようもない悲劇だ(生身の人間は)…死ねば全てが終る…これでも、まだ女王プロメシュームに刃向うというのか? |

82

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| 8 | プロメシュームのレリーフ | |
| 9 | 対峙する黒騎士と鉄郎<br>メーテル立ち上る<br>クルッと体の向きを変えて | 黒騎士　お前も、我々と同じように永遠に生きたいとは思わぬか?　永遠の命さえ…<br>鉄郎　ちがうっ! |
| 10 | 黒騎士横顔UP | 鉄郎　(OFF)死んだからって終りじゃない! |
| 11 | 対峙する黒騎士と鉄郎 | 鉄郎　俺の体には赤い血が…殺された母さんや親父たちと同じ赤い血が流れているんだ |
| 12 | 対峙する二人 | 鉄郎　俺は親父に誓ったんだ。赤い血のしみ込んだ大地へ必ず生きて帰るってな! |
| 13 | 黒騎士 | 黒騎士　父親に誓っただと?<br>鉄郎　(OFF)死んでいったじいさんや仲間たちさ!俺のために血を流してくれたんだ! |
| 14 | 黒騎士の主観<br>とびのきながら銃を抜く | 黒騎士　そうか、それがお前の父か…<br>鉄郎　その親父たちのためにも俺は! |
| 15 | 黒騎士UP | 黒騎士　それは、戦士の銃… |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 82 | 17 | 対峙する二人 | 鉄郎　早く抜け！<br>黒騎士　どうしても、私と戦いたいのか<br>鉄郎　ああ、そうだ！　さあ、抜けったら！ |
| | 18 | 銃に手がかかる | |
| | 19 | 横跳びするメーテル | メーテル　いけない、鉄郎ッ… |
| | 20 | 後方へとびのく鉄郎 | |
| | 21 | 横跳びするメーテル | |
| | 22 | 体を引きながら銃を構える黒騎士<br>発砲 | |
| | 23 | コスモドラグーン銃口UP、発砲 | |
| | 24 | のけぞるメーテル | メーテル　あ—— |
| | 25 | プロメシュームのレリーフ | 鉄郎　(OFF)メーテル！ |
| | 26 | 闇に閉される空間<br>上半身がボウッと浮かんでいる鉄郎<br>走る光芒、肩口を通過する。ふっとぶ鉄郎、闇の中に消える | |
| 83 | 1 | コントロールセンター全貌 | |
| 84 | 1 | 闇の中<br>FIする鉄郎、全く不安な状態である<br>恐怖がジリジリと昂ってくる鉄郎 | |
| | 2 | 闇の中の赤い目 | |
| | 3 | サアッと正面に構える鉄郎<br>汗がタラタラと落ちる | ミャウダーの声　焦るな、鉄郎。ジッとしていれば敵は動く<br>…敵の方から近づいてくる |
| | 4 | 闇の中の鉄郎 | |
| | 5 | 同 | |
| | 6 | 闇の中の鉄郎 | |
| | 7 | 鉄郎クローズUP<br>キッとふり返る<br>体をかわしながら銃を射つ | |
| | 8 | 走る光芒。闇の中へ吸い込まれる | 黒騎士の声　うっ… |
| | 9 | 幽鬼の如く現われる黒騎士 | 黒騎士　鉄郎…お前は、私が考えていたより多くのことを学んでいたようだな。しかしここで私に負けた方がお前 |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 84 | | | のためだったかもしれぬ |
| | 10 | 油断なく構えている鉄郎<br>黒騎士、火花に包まれて<br>—— | 鉄郎 ……<br>黒騎士 いいか、よく聞いておけ…お前は、限りある命の素晴らしさを信じて旅をしている…しかし、それは、絶望に向って旅を続けているのだ… |
| | 11 | 対峙する二人<br>足元から次第に光っていく黒騎士<br>立つ鉄郎 | もうすぐ、その絶望をいやという程、味わう時がくる…もうすぐ…<br>鉄郎 俺が何処へ行くのか、スリーナインの行く先が何処か知っているというのか? |
| | 12 | 光る黒騎士 | 黒騎士 機関車も、そしてメーテルもお前の行く先を知っている |
| | 13 | 愕然となる鉄郎 | 鉄郎 メーテルも! |
| | 14 | 闇の中へ消えていく黒騎士 | 黒騎士 さらばだ、鉄郎。お前が生きていたら、また会おう |
| | 15 | 消える黒騎士<br>その後方に赤い眼<br>突如、プラズマが走る | |
| 85 | 1 | コントロールセンターの表面 | |
| 85 | | 無数のプラズマが走る | |
| | 2 | 連結部が回転する | |
| | 3 | 同・内部<br>回転する連結部<br>ガラスドームの中を走る鉄郎 | |
| | 4 | 回転する連結部 | |
| | 5 | 同・内部<br>回転する連結部<br>IN～OUTする鉄郎 | |
| | 6 | 連結部分ゆっくり離れていく | |
| 86 | 1 | ステーション内部<br>走ってくる鉄郎 | 鉄郎 メーテルは戻って来た?<br>車掌 いいえ、まだです |
| | 2 | ピストン動き出す | |
| | 3 | 踵返す鉄郎<br>列車動き出し、車掌、鉄郎を掴む<br>引っぱり上げながら | 鉄郎 先に行ってくれ!<br>車掌 いけませんッ…<br>鉄郎 (OFF)放せッ…放してくれ! 放してくれ |
| 87 | 1 | 離れて行く核<br>激しいプラズマを放射しながら | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 87 | 2 | 上昇する999号 | |
| | 3 | 更に上昇する999号<br>ゆっくり落下していくステーション | |
| | 4 | 落下していく核<br>その上空を通過していく999号 | |
| | 5 | 上昇する999号<br>浮遊する隕石 | |
| | 6 | 遠去かっていく核<br>激しいプラズマを放射しながら—— | |
| | 7 | 更に遠ざかっていく核<br>一瞬火に包まれて<br>走る閃光 | |
| | 8 | 走る列車<br>閃光の照り返しを受けて<br>OLで元へ戻る | |
| | 9 | 消える光芒 | |
| 88 | 1 | デッキ口の鉄郎<br>ガックリと首をたれて | 鉄郎　メーテル… |
| 89 | 1 | 現われるクイーンエメラルダス号 | エメラルダスの声　私はエメラルダス。スリーナイン、停止しなさい |
| | 2 | デッキ口の鉄郎、顔をあげる | |
| | 3 | 伴走するエメラルダス号 | |
| 90 | 1 | 客車<br>鉄郎、扉開けて走り込んでくる | |
| | 2 | 扉開ける車掌<br>メーテルを抱えたエメラルダスがデッキ側に立っている | |
| | 3 | 走り込んでくる鉄郎、立ち止まり | 鉄郎　メーテルッ… |
| | 4 | 抱えて入ってくるエメラルダス<br>戸口で体を少し横にしながら | エメラルダス　もう少しで宇宙の底へ落ちていくところでした |
| | 5 | 小走りの鉄郎 | |
| | 6 | 座席へそっとメーテルを寝かすエメラルダス<br>INする鉄郎、立ち止まって | |
| | 7 | メーテルとエメラルダス<br>ほつれ毛をそっと直してやりながら | エメラルダスの声　メーテル…あなたも、つらい旅をつづけているようね |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 90 | | | 鉄郎、メーテルを守るのはあなたの義務ですよ…あなたが男ならね… |
| 91 | 1 | 遠去かって行くクイーンエメラルダス号<br>見守る鉄郎 | |
| | 2 | 列車内・医務室<br>部屋に明りがついている | |
| 92 | 1 | 同・室内<br>ベッドの傍に立つメタルメナの後姿 | |
| | 2 | ベッドに寝かされている裸身のメーテル | |
| | 3 | メタルメナUP<br>目を細めて見下ろす<br>メーテルの裸身、紗かけて——<br>WXP消えて元のトーンへ戻る<br>両手をゆっくりともち上げて小指を立てる<br>小指に力を入れてピンと立てるとエネルギーを放射する | メタルメナの声　私が欲しかったのは、この美しい顔…美しい体…今やっと手に入れることができる<br>鉄郎の声　メーテルゥ… |
| | 4 | あわててやめて、振り向く | メタルメナ（あ） |
| 92 | 5 | 扉開いて、鉄郎入ってくる | |
| | 6 | 鉄郎覗く<br>奥へ歩いて行き、覗き込む<br>あわてて後を向く<br>鉄郎、チラッとメタルメナを見ながら<br>メタルメナ、左右のカーテンを閉めながら<br>メタルメナ、鉄郎を一瞥(いちべつ)してスタスタと部屋を出て行く | 鉄郎　おおっ…と…君がメーテルをここへ!?<br>メタルメナ　ええ…メーテルさんを介抱してあげようと思って<br>鉄郎　君って案外やさしいんだな… |
| | 7 | ベッドの上のメーテルゆっくりとふり向く | |
| 93 | 1 | 扉（食堂車）<br>勢いよく扉開いてメタルメナの足IN、後ろ手で再び扉を閉める | |
| | 2 | 扉に後ろ手で寄りかかっているメタルメナ再び指からエネルギーを放射させる | メタルメナの声　…メーテル！あたしは諦めないわ、いつか必ず…いつか！ |
| | 3 | 走る光芒<br>粉々に砕け散るランプシェード | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 93 | | スローモーション&ストップモーション | |
| 94 | 1 | アンドロメダ大星雲 | 車掌の声　えー、次の停車駅は惑星モザイク、停車時間は2時間16分30秒だそうです |
| 95 | 1 | 客車内部<br>車掌<br>OUTする車掌<br>窓外を見る鉄郎<br>窓ガラスに映っている鉄郎<br>メーテルの方を見る鉄郎 | 鉄郎　惑星モザイク？<br>車掌　アンドロメダ大星雲の入口にある小さな星です、ハイッ<br>鉄郎　アンドロメダか…遠くまで来たんだなあー |
| | 2 | 腰おろすメーテル | |
| | 3 | 窓外を見る鉄郎<br>メーテル、見ているポーズから窓外へ―― | |
| | 4 | 車中の二人<br>窓に映る宇宙空 | メーテルの声　鉄郎、こんどスリーナインが停まる惑星モザイクが最後の機会よ。そこを過ぎたら二度と引きかえせないわ…決してね |
| | 5 | 驀進する999号<br>遙か彼方にアンドロメダ大星雲が広がる | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 95 | 6 | 幻想的SHOT<br>ふり向く鉄郎 | メーテルの声　私は一緒にモザイクで降りてもいい…あなたさえよければ、どこかの惑星で死ぬまで、一緒に暮らしてもいいわ、鉄郎 |
| | 7 | 見つめ合う二人 | 鉄郎　なぜだい？…メッセージ・カードで僕に列車に乗れと云っておきながら、こんどは降りろという… |
| | 8 | メーテル | 鉄郎　(OFF)プロメシュームのあとを継いだという噂も否定しようとしない… |
| | 9 | 鉄郎、哀しい表情で | 鉄郎　その上、ファウストと戦おうとした僕を体でかばってくれた |
| | 10 | メーテルUP | メーテル　…… |
| | 11 | 顔埋める鉄郎<br>窓ガラスの鉄郎 | 鉄郎　こんどの旅は分からないことだらけさ |
| | 12 | メーテルUP<br>思わず目を伏せ、指を噛む<br>とてもせつなーい… | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 96 | 2 | 惑星モザイク全貌<br>列車追うようにカメラTUして | |
| 97 | 1 | 霧に包まれた惑星モザイク<br>ボーッと浮かびあがるホームに999号が停車している | |
| | 2 | 同・ホーム<br>デッキ口に立って様子を伺っている鉄郎。<br>背後をふり返る<br>鉄郎、ポンとホームに降り立ち、周囲を見まわす<br>デッキにメタルメナ現われる | メタルメナ　(OFF)スリーナインから降りないんですってね<br>鉄郎　ああ…<br>メタルメナ　怖くないの？ |
| | 3 | デッキ口に立つメタルメナ<br>周囲を見回しながら | メタルメナ　これから行く処でどんな目にあうのか分らないのに<br>鉄郎　ああ、怖いさ！　でも、ここで逃げ出したら、死んで行った仲間たちに申し訳ないからね |
| | 4 | メタルメナUP | メタルメナ　死んでもいいの？ |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 97 | 5 | 対峙する二人<br>振り返る鉄郎<br>メタルメナ、踵を返して奥へ引っ込む | 鉄郎　死ぬもんか！　必ず地球へ帰るさ！<br>メタルメナ　帰れないわ、絶対に |
| 98 | 1 | 客車内部<br>扉開けてメタルメナ入ってくるがハッと立ち止まる<br>メーテルが立っている | |
| | 2 | メーテル | メーテル　あなた、おいくつ？ |
| | 3 | 戸口に立ちつくすメタルメナ<br>PAN UP | メタルメナ　……<br>メーテル　鉄郎は若いわ、若者はね、負けることは考えないものよ |
| | 4 | メーテル | メーテル　一度や二度しくじっても、最後には勝つと信じてる…それが本当の若者よ |
| | 5 | メタルメナ、戸口に寄りかかって | メーテル　(OFF)昔は、そんな若者が大勢いたわ… |
| | 6 | メタルメナとメーテル<br>メタルメナ、視線をはずして | メタルメナ　メーテルさん、あなた、ずい分大勢の若者を知ってらっしゃるようね<br>メーテル　ええ、私は時の流れを |

| シーン | カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 98 | | メタルメナ、両手をしげしげと見つめている | 旅する女。今までに数え切れないくらい大勢の若者と旅をして来たわ |
| | 7 | メタルメナUP<br>自分の両手を慈しみながら聞く | |
| | 8 | メーテル、横顔UP | メーテル …共に喜んで、共に悲しんで…そして死に別れてきた… |
| 99 | 1 | ホーム・水呑み場<br>頭から水をかぶる鉄郎 | |
| | 2 | メーテルUP | メーテル …私は、一緒に旅した若者たちのことを決して忘れない |
| | 3 | 顔上げる鉄郎<br>したたり落ちる水滴<br>考え込んでいる様子 | |
| | 4 | メーテルUP | メーテル 一人一人の思い出をこの胸に刻み込んで抱いていくわ…永遠に… |
| | 5 | 水面に映る鉄郎<br>ユラユラと顔が歪んで | |
| | 6 | ホームの鉄郎<br>ハッと身を起す | |

| シーン | カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 99 | 7 | 霧に包まれた操車場<br>鉄郎、歩いて来て耳を澄ます | |
| | 8 | ハッとする鉄郎 | 鉄郎 まさか!?… |
| | 9 | 線路上へとび降りる鉄郎 | |
| | 10 | 小走りにやってくる鉄郎<br>奥から手前へ—— | |
| | 11 | 線路を横切って行く鉄郎<br>時計マルチプレーン | |
| | 12 | ホーム<br>INしてくる鉄郎、とびついて登る | |
| | 13 | ギクリとする鉄郎<br>幽霊列車が停車している<br>INして左右を見まわしながら | 鉄郎 …!?…幽霊列車だ! |
| | 14 | 歩く鉄郎<br>ピタッと立ち止る<br>思わず貨車に近寄り、通風孔をのぞいたりする | 鉄郎 ミヤウダー! 君か!? |
| | 15 | 叫ぶ鉄郎<br>一、二歩後退して— | 鉄郎 ミヤウダー!? |
| | 16 | 貨車の屋根<br>ベンチレーターへTUし | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 99 | | ていく | |
| | 17 | よじ登る鉄郎 | |
| | 18 | 貨車の上、INする鉄郎<br>ベンチレーターの所へ跪(ひざまず)く<br>静かにシャッターが左右に開く | 鉄郎　ミヤウダー！　僕だ、星野鉄郎だよ！ |
| | 19 | ベンチレーター<br>中に向って叫ぶ鉄郎 | 鉄郎　ミヤウダー！ |
| | 20 | センサー連動銃、静かにせり上ってくる | |
| | 21 | ハッと顔上げる鉄郎<br>早いTU | |
| | 22 | 走る光芒<br>のけぞる鉄郎<br>スローモーション | |
| | 23 | 貨車から落下する鉄郎 | 鉄郎　うわっ！ |
| | 24 | 線路端へ落ちる鉄郎 | |
| | 25 | ライトつく幽霊列車<br>同時に車体が青白く光る | |
| | 26 | 動き出す幽霊列車 | |
| | 27 | 起き上ろうとする鉄郎<br>眼前を通過して行く列車 | |
| 99 | 28 | 朦朧としている鉄郎再び意識を失う | 鉄郎　……ミ、ミヤウダー…… |
| | 29 | 遠去かって行く幽霊列車 | |
| | 30 | 気絶している鉄郎 | |
| 100 | 1 | 額に濡れた手拭をのせた鉄郎<br>体をピクッとさせて意識戻る鉄郎<br>ガバッと起きあがる | 鉄郎　…… |
| | 2 | 客車内のメーテルと鉄郎<br>鉄郎、メーテルに気付く | メーテル　これから先は引き返せない旅よ |
| 101 | 1 | 惑星モザイクから離れて行く999号 | |
| 102 | 1 | 客車内部<br>座っているメーテル | メーテル　鉄郎、あなたの行く先は、アンドロメダ星雲の中心にある惑星大アンドロメダ |
| | 2 | 鉄郎 | 鉄郎　惑星大アンドロメダ？ |
| 103 | 1 | 不気味に蠢動(しゅんどう)するアンドロメダ大星雲 | メーテルの声　（エコー）そう…そこは大恒星群の重力バランスの中にある全宇宙を支配する機械帝国の首都…<br>鉄郎の声　（エコー）なんで、そ |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 103 | | | のことを黙ってたんだ？<br>メーテルの声　（エコー）話せば、あなたは必ず行くと云うわ |
| 104 | 1 | メーテル | メーテル　そして、二度と生きては戻らない… |
| | 2 | 鉄郎 | 鉄郎　じゃ、どうして僕にあんなメッセージ・カードを!? |
| | 3 | メーテル | メーテル　あれは、私じゃない。あなたを惑星大アンドロメダへの旅に出すための罠… |
| 105 | 1 | アンドロメダ大星雲走り去る999号 | |
| 106 | 1 | 窓際に立つ鉄郎<br>メーテルINする<br>台詞終ってメーテルの方を見る<br>メーテル、通路の方を見る | 鉄郎　…でも、分らないな。そんな面倒なことするくらいなら、始めから僕を殺せばいいんだ… |
| | 2 | 思案投げ首の車掌<br>奥から歩いてくる<br>メーテルに呼び止められて慌てて少し戻る車掌 | 車掌　おかしいことがあるもんだな──<br>メーテル　（OFF）車掌さん！<br>車掌　…ハ、ハイッ |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 106 | 3 | メーテルと鉄郎<br>鉄郎もふり向く | メーテル　うかない顔をしてどうしたんです？ |
| | 4 | 車掌、思案投げ首で | 車掌　それが、どうも変でして、スリーナインがまっ直ぐ進まないんですよ |
| | 5 | 思わず向き直る鉄郎<br>やや広角的仰角アングル | 鉄郎　まっ直ぐ走れない!? |
| 107 | 1 | 知力燃焼室 | 機関車の声　ハイ、今ノ処、修正可能デスガ、何カガスリーナインニ作用シテマス |
| | 2 | 機関車内部<br>立ちつくす三人 | 声　何カワカラナイガ…右ノ方ニ何カガアッテ、強ク引キツケテイルノデス…恐ロシイ…トテモ、私ハ恐ロシイ |
| | 3 | 鉄郎。照り返し受けて | |
| | 4 | 車掌。照り返し受けて | 静寂 |
| | 5 | メーテル<br>不安な表情が流れて<br>ゆっくりTU | |
| 109 | 2 | 驀進する999号<br>激しく回転するピストン見せて | |
| | 3 | 蠢動する光の空間<br>その渦の中へ走り去る9 | |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 109 | | 999号<br>BG数枚に依るストロボ手法及び透過光処理<br>カメラ、列車を追うようにしてTU | |
| 110 | 1 | 神話世界のような超亜空間<br>黒い稲妻が走るTU | |
| | 2 | 雲の中<br>その間隙(かんげき)を走り抜けて行く999号<br>プラズマが無数に走る | |
| | 3 | 空間<br>奥からビュンビュンと光の球体が飛んでくる<br>その中を行く999号 | |
| | 4 | 粘液質空間<br>スライドINする999号 | |
| | 5 | 黒く噴き上げるコロナ<br>光点ゆっくり近づいて999号見えてくる | |
| 111 | 1 | 知力燃焼室 | 機関車の声　惑星大アンドロメダノ重力圏突入20秒前<br>重力ブレーキ出力最大到着マデアト30分45秒… |
| | 2 | 機関車内部<br>メカ点滅し乍(なが)ら | |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 112 | 1 | 光の空間　TU— | |
| | 2 | 光を浴びる機関車<br>OLでハイキートンに | |
| | 3 | 色と光のオブジェ<br>特殊アニメーション<br>主観移動 | |
| 113 | 1 | 大恒星群(アンドロメダ大星雲)短いFIしてゆっくりTU<br>恒星がゆっくりと奥から飛んでくる　(OL) | |
| | 2 | 惑星プロメシュームの全貌　TU— | |
| | 3 | 驀進する999号<br>せり上がる様に惑星プロメシュームが見えてくる | |
| | 4 | 惑星プロメシューム<br>大夜景<br>PAN—UP　雲　左右にゆっくりと引いていく<br>降下していく999号 | |
| | 5 | 立体構造を成す大都市<br>999号　INして | |
| | 6 | 眼を見張る鉄郎 | |

| シーン | カット | 内容 | 台詞・音 |
|---|---|---|---|
| 113 | | 前方を見る | |
| | 7 | オイルの海と大都市 PAN―UP オイルの海に方向指示ランプが点く | |
| | 8 | オイルの海 進む999号 | |
| | 9 | ステーション導入口 PAN―DOWN IN してくる999号 | |
| | 10 | 降下する999号 | |
| | 11 | 降下していく999号 | |
| | 12 | 身を乗り出し行手を見守る鉄郎 TBして― | |
| | 13 | 激しく回転するピストンと動輪 左右に壁開いて中央ステーションせり上がってくる | |
| | 14 | 驀進する999号 | |
| | 15 | ステーション進入口 降下していく999号 | |
| | 16 | 同内部 降下してくる999号 | |

AR-18

| シーン | カット | 内容 | 台詞・音 |
|---|---|---|---|
| 113 | | 壁面に映る影 | |
| | 17 | 屹立（きつりつ）する中央ステーション 仰角アングル ヘリコプターが飛び去る PAN―UP エアカーが行き交っている | |
| 114 | 1 | ステーション内部 奥から手前へ走りこんでくる999号 | |
| | 2 | プラットホーム すべり込んでくる999号 激しく蒸気吐き出し乍ら― | |
| | 3 | ゆっくりと停まる999号 プレートUPでSTOP | |
| 115 | 1 | 自動レバーおりる | |
| | 2 | 自動レバーおりる | |
| | 3 | 機関車内部 すべてのメカが消える | |
| 116 | 1 | ステーション全貌 UPの球体スピーカーゆっくりOUT PAN―DOWN 999 | スピーカーの声 終着駅 惑星大アンドロメダ…惑星大アンドロメダ 上層へのお出口は第808 |

| | | |
|---|---|---|
| | 9号　停車している<br>球体スピーカーが浮遊している<br>豆粒のようなメーテルと鉄郎エスカレーターを上がってくる | エスカレーター通路へ…地下方面は第989エスカレーター降下道へ…<br>アンドロメダ　アンドロメダ<br>惑星大アンドロメダ<br>終着駅　大アンドロメダ |
| 2 | 更にエスカレーターで昇っていくメーテルと鉄郎<br>INして<br>車掌とメタルメナが続く | |
| 3 | エスカレーター<br>上がってくるメーテルと鉄郎<br>眼下に999号の停車しているプラットホーム眺望出来る<br>正面見る鉄郎 | |
| 4 | 床舐めてPAN―UP<br>立っている黒騎士<br>背後に都市が眺望出来る | 黒騎士　鉄郎　とうとう来たか |
| 6 | 黒騎士ファウスト | |
| 7 | 銃を抜く鉄郎<br>エスカレーター上がって来る車掌とメタルメナ | 黒騎士　（OFF）あわてるな！ |



| | | |
|---|---|---|
| 8 | ゆっくり歩いてくる黒騎士ファウスト | お前はここへ来た客だ<br>争うつもりはない |
| 9 | 鉄郎たち一同<br>ゆっくりとINする黒騎士立ち止まり　両手を広げて見せる | その証拠に　見ろ<br>私は武器は持っておらぬ |
| 10 | 対峙する黒騎士と鉄郎<br>メーテル返事終って鉄郎の方へ向き直って― | 鉄郎　……<br>黒騎士　メーテル様　お迎えが参っております<br>メーテル　分りました<br>鉄郎　あなた方は先にこの上のホテルへ行ってて…<br>鉄郎　でも… |
| 11 | メーテルUP | メーテル　云う通りにして　鉄郎 |
| 12 | 自動通路<br>INするメーテル<br>自動通路に乗る | |
| 13 | 自動通路行くメーテル<br>見送る鉄郎たち | |
| 14 | 窓外に拡がる大夜景<br>ガラスドームの中、光芒が走る<br>自動通路に乗った一同INして<br>各種各様の機械化人がカ | 黒騎士　（OFFから）よく見るがいい鉄郎　ここには死の恐怖はない　飢えの恐れもない…ユートピアだ…<br>…人は無限の可能性をいつ |

116

| | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| | メラ前を通過していく | までも持ち続ける事が出来る　お前たち人間にとっては束の間の青春が　ここでは永遠に続くのだ |
| 15 | 自動通路の鉄郎<br>左右を見やる | |
| 16 | 見下ろしている黒騎士UP | |
| 17 | 周囲見まわす車掌とメタルメナ | メタルメナ　素晴しいわ　永遠の命って！<br>車掌　おや？ |
| 18 | カプセルを食べる機械化人間<br>一同ゆっくり通過していく<br>メーターが光って恍惚状態になる機械化人 | メタルメナさんと同じ物を食べている… |
| 19 | 自動通路の一同 | 黒騎士　あのカプセルは　この星で造られて全宇宙へ供給されている |
| 20 | ホテルロビー全貌<br>下へスライドOUTする鉄郎たち<br>大エレベーターが上下している　PAN—UP | 機械化世界を支える力の源だ |

117

| | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| 1 | 停車しているリムジーン<br>近衛兵ドアを開けると降り立つメーテル<br>ゆっくりと歩き始める<br>見送る直立不動の兵 | |
| 2 | オプチカルエレベーターの入口<br>奥へ歩き去るメーテル | |
| 3 | エレベーターに乗るメーテル | |
| 4 | 降下するオプチカルエレベーター<br>手前へ降下し乍らUPして— | |
| 5 | タワー全貌<br>リムジーンが帰っていく<br>PAN—DOWN<br>破れ目から降下していく光の円盤見える | |
| 6 | タワー内部<br>降下していくメーテル<br>破れ目から立体都市が眺望出来る | |
| 7 | 地底深く続いているエレベーター—タワー<br>PAN—DOWN　豆粒 | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 117 | | の光芒がガラスのドーム内走っている<br>ヘリコプター　上空を通過していく<br>TU— | |
| | 8 | 血管内部の様なタワー内<br>最上段マルチ　メーテル降下していく | |
| | 9 | 人骨の様な柱が屹立する<br>地底内部<br>青白いガスが漂っている<br>PAN—DOWN　メーテルの乗った光が豆粒程に見える | |
| | 10 | 地底深く降下していくメーテル | |
| 118 | 1 | 地下宮殿　通路<br>INするメーテル　ゆっくりと奥へ進んで行く | |
| | 2 | 歩くメーテル<br>球体室の前で立ち止まる | |
| | 3 | 球体室へ入るメーテル<br>一瞬スパークしてバリヤー壁を通り抜けるメーテル | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 118 | | 球体内部の中央へ立つ | |
| | 4 | 青白い炎噴きあげている<br>FIして<br>暗い空間を青白い火の玉カーブを描いてゆっくりとIN—OUT | プロメシュームの声　ようこそ<br>わが娘　メーテルよ… |
| | 5 | 青白い炎噴きあげている<br>巨大な中心核 | メーテル　お母様…<br>プロメシュームの声　私のことをまた母と呼んでくれるのか |
| | 6 | 上空へ噴きあげるコロナ<br>中央にプロメシュームの能面の様な顔浮びあがる | お前は　鉄郎と共にお前の分身である惑星メーテルと人の姿をしたこの私を破壊した… |
| | 7 | 回想 | |
| | 8 | 対峙する母と娘<br>ズズーンと崩れる炎<br>再び噴きあげるコロナに浮びあがるプロメシューム | …私たちは半分ずつ自分を失ってしまった…<br>…私たちの間に　もう憎しみはないはず<br>今一度　話し合おう　メーテル |
| | 9 | 球体室のメーテル | メーテル　はい… |
| | 10 | 再び噴きあげるコロナ | プロメシュームの声　私は　人という人から裏切られ　石も |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 118 | | | て追われるごとく— |
| | 11 | インサート・カット | —故郷(ふるさと)の遊星ラーメタルをあとにした …ただ一人 娘のお前だけを連れて… |
| | 12 | 暗黒空間 小さな惑星がゆっくり近づいてくる (OL) | …石ころに等しいこの星にたどりついたあと 誰にも頼らず自分一人の力で機械の星を積み重ね |
| | 13 | 惑星大アンドロメダ ゆっくりTUしていく | 死の恐怖のない永遠の機械化世界を造り上げた |
| | 14 | 地下宮殿全貌 巨大な中心核から噴きあげるコロナ | それがどんなに辛い仕事だったか… |
| | 15 | 対峙する母と娘 下から噴きあげるコロナに浮ぶプロメシューム | しかし 私の苦労も 今やっと酬(むく)われる時が来た… あとはお前にまかせて私はこの惑星の心となり余生を送りたい |
| | 16 | 球体室のメーテル | メーテル はい お母様 |
| 119 | 1 | 中央ステーション・ホテル全貌 TUして— | |
| | 2 | 同・窓 窓際へ歩いてくる鉄郎 立ち止まる | |
| 120 | 1 | 同・一室 窓辺に立つ鉄郎 ソファーに座している メタルメナ 窓外、ヘリコプターが横切っていく 車掌が駈け込んでくる 振り返る鉄郎 | 鉄郎 遅いな メーテルは…<br>車掌 (OFFから)て 鉄郎さん 大変です! |
| 121 | 1 | 立体道路 舞う紙吹雪 沿道を埋めた機械化人たち ガラスドームの中ゆっくりとリムジーン進む | 歓声 新しい女王陛下万才! メーテル様万才 |
| | 2 | 群集 鉄郎がかき分けて前へ進み出る | |
| | 3 | リムジーンに乗ったメーテル 見おろす機械化人と鉄郎 舞う紙吹雪 | |
| | 4 | 愕然とする鉄郎 黒ベタBGに紙吹雪舞う 早いTB— | (音声すべて途切れて—) |
| | 5 | リムジーンに乗っている メーテル | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
| --- | --- | --- | --- |
| 121 | 6 | 屹っと虚空睨む鉄郎UP<br>紙吹雪舞う<br>ゆっくりとコスモドラグーン抜く<br>その表情に哀しみが湧く<br>動画でUPよりロングまで引いて<br>鉄郎 | (再び音声戻って—)<br>(大群集の歓声がする)<br>歓声　女王陛下万才!<br>機械化帝国に栄光あれ!!<br>女王メーテル陛下　万才! |
| | 7 | 紙吹雪舞う<br>BG血の様な真紅<br>片膝付き銃を構えるTU | 鉄郎　メーテルっ! |
| | 8 | 走るリムジーンIN—OUT | |
| | 9 | 銃構えている鉄郎TU | メーテルっ! |
| | 10 | 走るリムジーン<br>IN—OUTして— | |
| | 11 | 銃構える鉄郎　TU | メーテルっ! |
| | 12 | 走るリムジーン<br>IN—OUTして— | |
| | 13 | 銃構えている鉄郎<br>ガックリと腰おとしてしまう<br>中OLでBG立体都市に変わる | (歓声消えて)<br>鉄郎の声　なんのために一緒に旅をして来たんだ!　なんのために… |

AR-21

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
| --- | --- | --- | --- |
| 121 | 19 | 見送る鉄郎<br>PAN—DOWN　エアカーINして止まる<br>扉開いて車掌とび出してくる | 車掌　鉄郎さァーん! |
| | 20 | 見下ろす鉄郎<br>一・二歩進み出て— | 鉄郎　うっ |
| | 21 | 眼下のエアカー<br>車掌見上げて—<br>立ち止まる鉄郎 | 車掌　メーテルさんがお呼びです!<br>鉄郎　メーテルが? |
| 122 | 1 | 屹立する大寺院<br>透過光処理<br>PAN—UP及びTU<br>(OL) | |
| | 2 | 大寺院の塔　PAN—DOWN<br>門前に豆粒程のメーテルが立っている<br>手前からエアカーINしてメーテルの前で停止する | |
| | 3 | 降り立つ鉄郎たち<br>光消え　扉が開く | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 122 | | メーテルの前へ進む鉄郎たち<br>立ち止まる一同<br>メーテル台詞尻でクルッと踵を返す | 鉄郎　あ<br>　メーテル<br>メーテル　鉄郎<br>　今からここで見る物をよく<br>　胸に焼きつけなさい |
| | 4 | 歩き去るメーテル<br>あとに続く一同<br>鉄郎〝オヤッ!?〟と立ち止まる<br>車掌たちOUTして | |
| | 5 | 幽霊列車が停まっている<br>PAN　早いPAN | |
| | 6 | 鉄郎UP　早いPAN<br>鉄郎INして— | 鉄郎　(M)何故　こんな処に幽霊<br>　列車が… |
| | 7 | 大寺院　扉<br>前に立つ一同　TBして<br>メーターが台詞に合わせ点滅する<br>中央のセンサーがメーテルを照らす<br>ゆっくりと扉が左右へ開いていく<br>一同の影のびて— | メーテル　ドームを開けなさい<br>声　コノドームヲ開ケラレルノハ<br>　女王陛下ダケデス<br>メーテル　私が女王です<br>声　失礼シマシタ<br>　女王陛下　オオセニシタガ<br>　イマス<br>　ロック解除 |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 122 | 8 | 開く扉 | あ—— |
| | 9 | 眼前に広がる巨大なマシーン | |
| | 10 | 立尽す一同<br>蹌踉めく様に二・三歩進み出る鉄郎 | (人間のうめきと喘（あえ）ぎが流<br>れてくる)<br>鉄郎　…これは!? |
| | 11 | メーテルと車掌<br>ギクリとなる車掌 | メーテル　生命（いのち）の火を抜き取る工<br>　場…<br>車掌　ええッ!? |
| 123 | 1 | 同・内部　TB<br>走り込んでくる鉄郎と車掌　メタルメナ<br>立ち止まる | 車掌　あっ |
| | 2 | 愕然と立尽す一同 | |
| | 3 | ベルト・コンベア<br>数百人の人間たちをベルト・コンベアが運んでいる　PAN—UP | |
| | 4 | 光のベルト・コンベアで運ばれる人間たち | |
| | 5 | 運ばれる人間たち<br>見張りの兵が立っている | |
| | 6 | 腰抜かし座り込んでしまう車掌 | 車掌　あ——ああ |

| カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|
|  | メーテルが立っている |  |
| 7 | ベルト・コンベア<br>腰抜かしている車掌<br>メーテルも居る<br>PAN―UP&TU |  |
| 8 | 落下して行く人間たち |  |
| 9 | 次々と生命の火を抜いて<br>いくマシーン<br>手前落下していく人間 |  |
| 10 | 生命の火が送りこまれて<br>いく　PAN |  |
| 11 | カプセル化システム<br>PAN　細分化される生<br>命の火 |  |
| 12 | 細分化される生命の火 |  |
| 13 | 生命のカプセル吐き出す<br>マシーン<br>受け皿が回転する |  |
| 14 | 駈け込んでくる鉄郎<br>INして―<br>吐き出されるカプセルを<br>手で受け取る<br>じっと見つめる鉄郎 | 鉄郎　う |
| 15 | ハッと振り返る鉄郎 | 鉄郎　!?…ハッ!! |

AR-22

125　123

| カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|
| 16 | 手の中のオルゴール時計<br>TB |  |
| 17 | 走って来る鉄郎<br>立ち止まる　PAN―U<br>P　死体の山である<br>シュートから死体が落ち<br>てくる<br>鉄郎　登って来る<br>縁に立つ |  |
| 18 | 愕然と立尽す鉄郎　TB<br>PAN　無数に積みあげ<br>られた屍(しかばね)<br>シュートから落ちてくる<br>屍<br>その屍の中にミヤウダー<br>の姿がある<br>手の中のオルゴール時計<br>チカッと光る |  |
| 19 | 思わず身を乗り出す鉄郎 | 鉄郎　…ミヤウダー… |
| 20 | ミヤウダーの亡骸(なきがら)　TU<br>モノトーンの屍の中にミ<br>ヤウダーのみ色つきで見<br>せる | 鉄郎の声　ミヤウダー――!! |
| 1 | 巨大なマシーン　PAN<br>―DOWN<br>鉄郎がミヤウダーの亡骸 |  |

125

| | | |
|---|---|---|
| | を抱えて歩いてくる | |
| 2 | ミヤウダーの亡骸抱え歩く鉄郎<br>眼下にベルト・コンベア眺望して—— | |
| 3 | 亡骸を床に寝かせる鉄郎<br>思わず駆け寄ってくる車掌 | 車掌　あー |
| 4 | 亡骸を見守る鉄郎 | ミヤウダーの声　(エコー)俺より先に死ぬなよ |
| 5 | ミヤウダーの亡骸　TU | (エコー)男の約束だぞ |
| 6 | 歯を喰いしばり泣く鉄郎<br>TU | 鉄郎　ううう…<br>(嗚咽する)… |
| 7 | 泣き崩れる鉄郎<br>貰い泣きする車掌<br>メタルメナ　自分の手を眺め乍ら—— | ミヤウダー…<br>……<br>メタルメナ　だらしないわね　人が死んだ事ぐらいで泣くなんて! |
| 8 | 諭すメーテル<br>自分の手を舐めまわす様に眺めるメタルメナ | メーテル　男の子が　友達の為に涙を流すのは恥ずかしい事じゃないわ |
| 9 | 嗚咽している鉄郎<br>涙キラキラと落ちている | |
| 10 | メーテルとメタルメナ | メーテル　…あなたの為に泣いて |

125

| | | |
|---|---|---|
| | メーテル　鉄郎を見つめ乍ら—— | くれる友達があなたには居るの? |
| 11 | グサッと胸を突かれるメタルメナUP<br>ゆっくりと振り向く | メタルメナ　え |
| 12 | メーテルUP | |
| 13 | 鉄郎　振り仰ぐ | |
| 14 | たじろぐメタルメナ | |
| 15 | 鉄郎　メタルメナを引っぱってくる<br>怒りをぶちまける鉄郎<br>ポケットへ手を突っ込みカプセルを取り出す<br>カプセルを突きつける鉄郎<br>後退するメタルメナに迫る鉄郎 | 鉄郎　これでも　まだ　ここが楽園と見えるのか　メタルメナ!<br>さア　食え!<br>食ってみろ! |
| 17 | 涙の鉄郎 | 命の火だぞ　食わないのか! |
| 18 | メタルメナUP<br>その眼前で手の中のカプセルをこぼす | |

| カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|
| 19 | メタルメナと鉄郎<br>カプセルがバウンドし乍ら転がって落ちる<br>鉄郎手前に歩いて来て—<br>奥からメーテルと車掌来る<br>銃抜く鉄郎<br>振り返る一同 | 鉄郎　何が永遠の命だ!<br>……<br>…人の命を犠牲にして出来た楽園なんてあるもんか!<br>声　(エコー)お前達全員を逮捕する |
| 20 | 機械化兵の一団<br>リーダー格からTB<br>外にエアカー停まっている | |
| 21 | 対峙する一同<br>突如走り出すメタルメナ | 車掌　メタルメナさん!! |
| 21A | メタルメナUP | |
| 22 | 止めポーズ<br>BG白黒フラッシュTU | |
| 23 | 機械化兵一団<br>ねじった早いTU—— | |
| 24 | 止めポーズIN~OUT<br>BG白黒フラッシュ | |
| 25 | 機械化兵の一団<br>早いTU— | |



| カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|
| 26 | 止めポーズIN—OUT<br>BG白黒フラッシュ | |
| 27 | 閃光と共に爆発するメタルメナ<br>走る鉄郎 | 鉄郎　メタルメナ! |
| 28 | 発砲する機械兵 | |
| 29 | 回転し乍ら射つ鉄郎 | |
| 30 | 爆発する兵<br>ガバッと起き上がる鉄郎<br>走り出す<br>駆け寄る鉄郎<br>続いて車掌IN<br>鉄郎メタルメナを抱き起こす | 鉄郎　メタルメナ… |
| 31 | 傷だらけのメタルメナ<br>ヘナヘナと膝を折って座り込む車掌 | メタルメナ　…わたしは永遠の命と宇宙で一番美しいメーテルさんの体が欲しかった…なんてこと…あたしの負けよ…鉄郎さん… |
| 32 | 鉄郎とメタルメナ<br>鉄郎の眼に涙が光る<br>メタルメナの手が鉄郎の涙にさわる<br>泣き笑いの鉄郎 | 鉄郎　メタルメナ…君って奴は…<br>メタルメナ　…あたしの為に泣いてくれるのね… |
| 33 | 鉄郎の眼UP | |

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| | メタルメナの指を伝って流れおちる涙 | メタルメナ（OFF）…ありがとう…… |
| 34 | 鉄郎とメタルメナ<br>涙のついた指を軽く口へくわえるメタルメナ<br>早いPAN—UP<br>覗き込んでいる車掌 | |
| 35 | 立尽すメーテル<br>TBして—<br>鉄郎メタルメナを床へおくと傍の銃を取りゆっくりと立ち上がる | |
| 36 | 飛び出る鉄郎 | |
| 37 | 振り返る見張り兵<br>銃構えた途端に光芒走って爆発 | |
| 38 | 背後に迫る兵<br>鉄郎　体を回転させ射つ<br>爆発する兵 | |
| 39 | 撃ちまくる鉄郎 | |
| 40 | 火を噴く巨大マシーン | |
| 41 | 次々と破壊されていく巨大マシーン | |
| 42 | 誘発する巨大マシーン | |



| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| 43 | 停止するベルトコンベア | |
| 44 | 停止したベルトコンベア<br>ムックリと起き上るパルチザンたち | |
| 45 | 爆発する生命の火を抜き取るマシーン | |
| 46 | 爆発するカプセルマシーン | |
| 47 | 炎の柱吹き上げる巨大マシーン | |
| 48 | 大寺院　塔<br>窓から噴き出す炎<br>舞う火の粉 | |
| 49 | 黒煙噴き上げる大寺院 | |
| 50 | 炎上する巨大マシーン<br>逃げ出すパルチザン達<br>メーテルの処へ駆け寄る鉄郎<br>火の粉　舞いおちて— | |
| 51 | メーテルと鉄郎<br>外へ逃げ出して行くパルチザンたち<br>向き直って | メーテル　鉄郎<br>早くあの人達をスリーナインへ乗せて頂だい<br>鉄郎　その前にやりたい事があるよ |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 125 | 52 | メーテルと車掌 | メーテル　えッ？… |
| | 53 | 決意する鉄郎 | 鉄郎　どうしてもプロメシュームを倒すのさ |
| | 54 | シルエットの鉄郎たち後方で爆発起こる | |
| | 55 | メーテルUP 屹っと顔上げる パサッと髪が風にあおられて 台詞終ってゆっくりと正面向くメーテル | メーテル　母を倒すのは　あなたじゃない　この私で― 母の血を貰ったこの私の手で倒すのが運命(さだめ)… |
| | 56 | 炎上する大寺院TB | プロメシュームの声　やはり裏切ったのかメーテル！　この母を… お前に全てを与えて安らかに眠りにつこうとしているこの母を！ |
| | 57 | 大炎上する寺院（OL） | |
| 126 | 1 | 地下宮殿 球体室の中に黒騎士ファウストが居る | だが私は負けない決して負けはしない |
| | 2 | 上空へ噴きあげるコロナ | 殺せ！ メーテルを殺せ！ |
| | 3 | 球体室の中のファウスト | ファウスト　鉄郎はどのように致しましょうか？ |
| | 4 | 対峙するプロメシュームとファウスト | プロメシュームの声　鉄郎はお前の頼みで呼び寄せてみただけの事 所詮(しょせん)　機械化世界とは相入れぬ宿命の敵　生かしておいても意味はない！ |
| | 5 | ファウスト　TU― | |
| | 6 | 対峙するファウストとプロメシューム | よもや　出来ぬとは申さぬであろうなファウスト!? |
| | 8 | ゆっくりと起き上がるファウスト | |
| 127 | 1 | 動力室への地下通路 扉開くとメーテルが走り込んでくる | |
| | 2 | 走るメーテル | |
| 128 | 1 | 動力室　TB― 走り込んでくるメーテル 立ち止まる | |
| | 2 | 中心核 ゆっくりと歩み寄るメーテル 光の黒騎士が現われる 振り返るメーテル | ファウスト　お待ちしておりましたメーテル様 |
| | 3 | 黒騎士ファウスト 光の物体からOLで実体になって― | 女王プロメシュームの命により　お命を頂きましょう |

| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| | 銃持った手をゆっくりと水平に上げる | |
| 4 | メーテル | メーテル !…あー |
| 5 | 銃構えるファウスト | |
| 6 | 叫ぶ鉄郎UP | 鉄郎 ファウストっ!! |
| 7 | 振り向くファウスト | |
| 8 | 銃を射ち落とす鉄郎 | |
| 9 | メーテル<br>銃構え後退りでINして来る鉄郎<br>メーテル走り出しメカ操作板に向う | メーテル 鉄郎!…<br>鉄郎 メーテル こいつは僕にまかせろ! |
| 10 | レバーおろす手UP | |
| 11 | メカ操作する手UP | |
| 12 | メカ操作するメーテルUP 手がIN—OUTして— | |
| 13 | 地下宮殿の球体<br>TU— | プロメシュームの声 メーテル何をする!お前は母の命を絶とうと言うのか! |
| 14 | メカ操作するメーテル | |
| 15 | 地下宮殿<br>次第に弱くなっていくコ | あれ程 お前を大切に育てたこの母を…メーテル…メ |



| カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|
| | ロナ | ーテル<br>メーテル |
| 16 | 動力室<br>炎が弱くなっていく<br>メカ操作しているメーテル | メーテル |
| 17 | 悲痛な顔あげる<br>嗚咽するメーテル | メーテル …許してお母様! |
| 18 | 動力室全貌 TB— | プロメシュームの声 (うめき声が次第に無気味な笑い声に変っていく) |
| 19 | 中心核UP<br>無数のプラズマが走りショートする | (プロメシュームの洪笑響きわたる) |
| 20 | たじろぐメーテル<br>ガラスドームの中 再び青い炎が噴き出す<br>鉄郎思わず振り向く | |
| 21 | ガラスドームの青い炎<br>その中に現われるプロメシュームの顔 | 愚かな娘よ ここは惑星メーテルではない |
| 22 | メーテル | メーテル …… |
| 23 | 対峙するファウストと鉄郎<br>ファウスト床の銃を拾お | プロメシューム ここは全宇宙を司どる機械帝国の首都……惑星大アンドロメダ…… |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| | | うと体を泳がせる | |
| 128 | 24 | ハッと振り向く鉄郎 | 永遠の命の都 大アンドロメダ 即ち 私自身 |
| | 25 | 銃射つファウスト 吹っとばされる鉄郎の銃 立ち上がるファウスト 駆け込んでくるメーテル | |
| | 26 | 立ちはだかるメーテル 鉄郎から早いTB | （このカットいっぱいこぼれて—） |
| | 27 | 立尽すファウスト | |
| | 28 | 炎のプロメシューム | プロメシューム メーテルよ 私が未来を托す為に育てたお前がこの母を裏切るとは… |
| | 29 | 立ちはだかるメーテルTO | 死ぬがいい 亡びるがいい 人間共と一緒に！ |
| | 30 | 銃構えるファウスト | ファウスト お覚悟を…… |
| | 31 | 振り仰ぐファウスト 画面動— | う…!? |
| | 32 | 機械化兵 とび込んでくる | 機械化兵 戦闘艦二隻 絶対機械圏内に侵入！ |
| 129 | 1 | 爆発するガニメデ 応戦するガニメデ等見せて— アルカディア号パルサーカノン砲射ち乍らIN | ファウスト 何ッ!! |
| | | 次々と射ち落されていくガニメデ 手前クイーンエメラルダス号IN 火を吹くエメラルダス号 | |
| | 1A | DN（37ション） | |
| | 2 | 大乱戦 前に惑星プロメシューム眺望して | |
| 130 | 1 | 仰ぎ見るファウスト達 画面動激しく 塵が舞いおちる TU— | |
| | 2 | 仰ぎ見るファウスト 塵舞いおちて— 画面動 TU— | ファウスト しかし この振動は どういう訳だ!? |
| | 3 | 壁面のガラスに亀裂が走る 画面動 PAN— | |
| | 4 | ガラスのドームに亀裂が走る 画面動 | |
| | 5 | ダッシュする鉄郎 隙を見てメーテルの腕を取り走り出す鉄郎 画面動 | |
| | 6 | 床に亀裂走る INする鉄郎 銃を拾う | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 130 | | そのまま走りOUT<br>転がりおちるオルゴール<br>時計 | |
| | 7 | オルゴール時計<br>画面動<br>ファウストの手がINし<br>て拾う　OUTして | |
| | 8 | ファウストUP<br>TB— 画面動— | |
| | 9 | ガラスのドーム割れる<br>青い炎が噴き出す<br>画面動 | |
| 131 | 1 | 地下通路<br>走ってくる鉄郎とメーテ<br>ル<br>噴き出す青い炎<br>画面動 | |
| | 2 | 走り去る二人　画面動床<br>に亀裂が走り大きく盛り<br>あがる<br>ズボッと噴き上げる青い<br>炎 | |
| 132 | 1 | 中央ステーション<br>画面動　PAN　DOW<br>N<br>塵舞いおちて— | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 133 | 1 | 同・ステーション内部<br>画面動　PAN—DOW<br>N<br>塵舞いおちて—<br>999号に乗り込むパル<br>チザンたち | |
| | 2 | ミャウダーの亡骸抱いて<br>いる車掌　画面動TU | 車掌　い　一体、何が始まったん<br>ですか… |
| | 3 | 汽笛鳴らす999号<br>短く連続的に画面動 | |
| | 4 | エスカレーターを駆け下<br>りてくる鉄郎とメーテル<br>画面動<br>亀裂が床を走る<br>乗り込もうとしている　PAN<br>車掌気付いて—<br>乗り込み乍ら | 車掌　ああ鉄郎さんメーテルさん<br>早く…早くお乗り下さい！ |
| | 5 | 機関車内部<br>動力が入り点灯が始まる | |
| | 6 | 乗り込もうとする鉄郎<br>振り向くと<br>鉄郎戻ってメーテルを強<br>引にひっぱり込む<br>画面動 | メーテル　鉄郎　私は…<br>鉄郎　何してるんだ！<br>早くメーテル！ |
| | 7 | 動輪ゆっくりと動き出す | |

| 133 | | |
|---|---|---|
| 8 | ピストン回転 | |
| 8A | 傷ついたメタルメナ<br>蹌踉めき乍ら歩いて来て<br>炭水車の上に転げこむ<br>画面動<br>床に亀裂走って—<br>メタルメナ乗せて炭水車<br>OUT | |
| 9 | 走り出す999号画面動<br>陥没するプラットホーム | |

| 134 | | |
|---|---|---|
| 1 | 上昇していく999号<br>壁面に亀裂が走って崩れ<br>始める　画面動 | |
| 2 | 驀進する999号 | |
| 2A | 街<br>右往左往する機械化人た<br>ち　画面動<br>道路に亀裂が走り陥没す<br>る | 機械化人　（阿鼻叫喚（あびきょうかん）） |
| 2B | 崩壊していく道路<br>画面動 | |
| 3 | 落下していく機械化人や<br>エアカー　画面動<br>爆発するエアカー | |

| 134 | | |
|---|---|---|
| 4 | 崩壊する道路<br>画面動　爆発 | |
| 5 | 壁面　亀裂が走る<br>画面動<br>驀進する999号　IN<br>して亀裂からオイルが噴<br>き出す | |
| 6 | オイルの滝<br>走る列車　画面動 | |
| 7 | 炎上する立体都市<br>あちこちから火の手あが<br>って—<br>早いPAN—DOWN・<br>上昇してくる999号 | |
| 8 | 現われる戦闘衛星 | |
| 9 | 上昇する戦闘衛星<br>手前からもゆっくりと<br>上昇して— | |
| 10 | 上昇する999号<br>戦闘衛星INして— | |
| 11 | 列車の窓<br>身を乗り出している鉄郎<br>たち | 車掌　せ、戦闘衛星ですよ!! |
| 12 | 戦闘衛星 | |

| カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|
| 12 | センサーが回転して方向を定める<br>発射口が回転し乍(なが)ら撃つ<br>その頭上にINしてくる<br>UPの戦闘衛星<br>発射口回転させ乍ら | |
| 13 | 驀進する999号<br>最後尾の車輛爆破される<br>火だるまで落下していく<br>展望車 | |
| 14 | 鉄郎叫ぶ | 鉄郎　皆んな前の方へ逃げろっ!! |
| 15 | なだれ込むパルチザンたち | |
| 16 | 車内走るパルチザン<br>光芒が通過する | |
| 17 | 追撃する戦闘衛星 | |
| 18 | 爆破される車輛 | |
| 19 | 火だるまの車輛<br>落下していく—<br>手前OUTすると列車が見える<br>デッキ口で立尽す鉄郎たち | |
| 20 | デッキ口 | |

AR-25

135 / 134

| カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|
| 20 | 立尽す鉄郎たち<br>光芒が頭上を通過する<br>右から別の光芒走って<br>爆発する戦闘衛星 | 鉄郎　ちくしょうッ!!— |
| 21 | 鉄郎　その表情に明るさが戻って— | ハーロック!! |
| 22 | アルカディア号出現<br>パルサーカノン砲乱射し乍ら— | |
| 23 | 爆発する戦闘衛星 | |
| 24 | 射つ戦闘衛星 | |
| 25 | 走る列車<br>光芒カーブしていく | |
| 26 | デッキ口の鉄郎たち | 鉄郎　弾道が右へカーブしてるぞ!! |
| 27 | アルカディア号<br>パルサーカノン砲発射 | |
| 28 | 走る光芒<br>カーブしていく | |
| 1 | 艦橋PAN　腕組みしているハーロックの後姿 | ハーロック　おかしい…弾道が右へそれていく |
| 2 | キャプテンハーロック<br>早いPAN—UP<br>画面動始まる! | ハーロック　何故だ!? |

| カット | | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 135 | 2 | 蹌踉めくハーロック | どうした!? |
| | 3 | コクピットの有紀螢とヤッタラン<br>振り向いて—<br>メカ点滅して　画面動 | 有紀螢　ものすごい吸引力が右後方から働いています |
| | 4 | 舵輪が回転する<br>画面動<br>トリさんがハーロックの腕に舞いおりる<br>吸い寄せられる999号 | ハーロック　何!! |
| 136 | | | |
| 137 | 1 | 機関車内部<br>メカ激しく点滅して—<br>画面動<br>鉄郎と車掌とび込んでくる | 車掌　あー<br>鉄郎　どうしたやられたのか!? |
| | 2 | 知力燃焼室<br>画面動　TU— | 機関車の声　何カシラ恐ロシイ重力ガ作用シテイマス |
| | 3 | 立尽す鉄郎と車掌<br>メーテル　焚口から入ってくる　画面動 | …私ニハドウニモ出来マセン |
| | 4 | メーテル | メーテル　(M)サイレンの魔女… |
| 138 | 1 | 暗黒彗星　超スローTU<br>380°回転し乍らスーパー中心核不気味に明滅して— | 鉄郎の声　(エコー)サイレンの魔女!?<br>メーテルの声　(エコー)…サイレンの魔女が歌う時生きとし生ける者全ての命の灯が消える…アンドロメダに昔から伝わる伝説よ |
| 139 | 1 | 地下宮殿　炎の球体<br>画面動 | プロメシュームの声　サイレンの魔女…何故　そのようなものがここへ!?…何故!? |
| 140 | 1 | 吸い上げられている機械化人たち<br>UPからスタートして—<br>無数の機械化人が吸い上げられていく<br>塵が舞いおちて—<br>画面動　エアカーも吸いあげられていく | (機械化人達の悲鳴流れて) |
| | 2 | 舞いあがる無数の機械化人やヘリコプター・エアカー等　PAN<br>火の手があがっている | |
| 141 | 1 | 吸いあげられていく戦闘衛星と999号 | |
| | 2 | 機関車　運転席の鉄郎と車掌　画面動 | |
| | 3 | 吸いあげられていくアルカディア号<br>その周囲を豆粒の様な機 | |

| カット | 番号 | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 141 | 3 | 械化人やヘリコプターが吸い上げられていく　更に手前を戦闘衛星が吸いあげられていく | |
| 142 | 1 | ミーメとハーロック<br>ミーメからTB<br>舵輪握ったハーロックINして　画面動<br>カット尻でワインを一気に飲み干すミーメ | ミーメ　サイレンの魔女は　異質のエネルギーを求めて宇宙を彷徨う大暗黒彗星…<br>ハーロック　プロメシュームが機械エネルギーをこの空間で充満させたため |
| | 2 | 緊張する一同<br>ミーメの体がYELLOWに光る　画面動 | それに引かれてサイレンの魔女が来た機械帝国の機械エネルギーがサイレンの魔女をここへ呼び寄せたのか…<br>トチロー　そうだ　俺も今は機械だからな…しばらくの間眠る事にするヨ<br>頼んだぞ　友ヨ… |
| 143 | 1 | 惑星プロメシュームを覆いつくすサイレンの魔女 | |
| | 1A | サイレンの魔女UP<br>不気味にゆっくりと回転する渦 | |

| カット | 番号 | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 143 | 1A | 中心部明滅して―<br>吸い込まれていく機械化人やヘリコプター<br>奥の方ですべて白燃化して消滅していく | |
| 144 | 1 | 振り返るハーロック<br>早いTB　画面動 | ハーロックの声　自動操縦停止！<br>人力操舵に切り替えろ！ |
| 145 | 1 | 機関車　運転席<br>メーテルたち　画面動 | メーテル　機械エネルギーは使えないわ？<br>人力で運転するのよ！うわ |
| | 2 | 吸い上げられていく999号<br>振れ乍ら上昇していく<br>追い越していく機械化人やヘリコプター | |
| 146 | 1 | 奮闘努力の車掌<br>画面動 | |
| | 2 | 動力炉　蓋左右へ開いて―<br>シャベルがINしてウラン燃料を放り込む | |
| | 3 | 燃料放り込む鉄郎<br>画面動 | |
| 147 | 1 | 激しく回転する動輪UP | |
| 148 | 1 | 運転する車掌 | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
| --- | --- | --- | --- |
| 148 | 1 | 画面動　TUしてー | |
| | 2 | 燃料放り込む鉄郎<br>画面動 | |
| | 3 | 奮闘する鉄郎　画面動 | |
| 149 | 1 | 吸いあげられていくアルカディア号<br>艦橋へTUー | |
| | 2 | 舵輪握るハーロック舵輪を素早く回転させる | ハーロック　アフターバーナー全開！<br>左22度に進路修正!! |
| | 3 | 艦橋　窓外吸い上げられていく機械化人たち<br>光の黒騎士現われる<br>バラバラッと隊員INして取り囲む | |
| | 3A | ハーロックUP<br>"ウム"といった表情をしてー | ハーロック　!?… |
| | 4 | 銃構えているヤッタランたち<br>奥にハーロック<br>早いTBに合わせ | 待て！ |
| | 5 | 黒騎士ファウスト<br>光の物体から実体へOLしてー | ファウスト　…… |

AR-26

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
| --- | --- | --- | --- |
| 150 | 1 | 艦長室<br>ワイングラスを盆にのせゆっくりと歩くミーメ<br>奥に対峙するハーロックとファウスト<br>ミーメ少し離れた処で立ち止まる<br>窓外吸い込まれていく機械化人たち<br>間とって | |
| | 2 | ハーロックとファウスト<br>TBしてー<br>機械化人たち吸い上げられていく<br>窓外見やり | ハーロック　久し振りだな…<br>ファウスト　鉄郎と最後の決着をつける時が来た… |
| | 3 | ハーロックUP<br>ファウストの台詞より<br>ゆっくりTUー | ハーロック　……<br>ファウスト　(OFF)立ち合ってくれるか？<br>ハーロック　よかろう<br>ファウスト　(OFF)どちらが勝っても手を出さぬと誓ってくれるか？ |
| | 4 | ファウストUP | ハーロック　(OFF)ああ……<br>しかし　つらい戦いになるな |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 150 | 4 | ファウストの台詞より ゆっくりTU— (短いOL) | ファウスト …この戦いに勝たない限り 私にも鉄郎にも未来はない |
| | 5 | 立尽すハーロックたち 窓外 吸い込まれていく機械化人たち | |
| | 6 | 振り向くハーロック 眼細めて | ハーロック 鬼だな |
| | 7 | ファウスト 遥か彼方に想いを馳せて —TU— | ファウスト …… |
| | 8 | (反転) 燃料放り込む鉄郎 | |
| | 9 | ハーロックとファウストTBして 窓外吸い上げられる機械化人たち INしてくるミーメ 二人の間へ立つ | ファウスト 鬼だ… 私は人の姿をした鬼だ |
| | 10 | ワイングラス取る二人の手 | |
| | 11 | ハーロック ミーメからTB ワイングラスがキラリと光る | |
| 150 | 12 | ファウスト ミーメからTB ワイングラスがキラリと光る | |
| 151 | 1 | サイレンの魔女 吸い込まれていく機械化人たち | |
| 152 | 1 | ファウストTB ひと息にワインを飲む | ファウスト さらばだ ハーロック |
| | 2 | ハーロック 台詞終ってひと息に飲む | ハーロック さらば…友よ |
| | 3 | 宙に舞うワイングラス スローモーション | |
| | 4 | 対峙するハーロックとファウスト | ファウスト まだ私の事を友と？ |
| | 5 | ハーロックとファウスト ファウスト左拳を差し出す 拳の中からスルッとぶら下がるスカラベのペンダント | ハーロック —— |
| | 6 | スカラベのペンダント クルクル廻っているペンダント キラリと光って— ハーロックの手INして | ファウスト 預かってくれるか？<br>ハーロック (OUT)ああ |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 152 | 6 | 受け取る<br>ゆっくり手を降ろすファウスト<br>口元にかすかに微笑をうかべる<br>下から次第に光っていく | |
| | 7 | 消えていくファウスト<br>足元から消えて行く<br>完全に消えるまで— | |
| | 8 | 項垂れるミーメ<br>大粒の涙流れ落ち乍ら<br>キラキラ輝く | |
| | 9 | ペンダント見つめるハーロック　手あがって— | エメラルダスの声　今から　この世で一番つらいものを見なければなりませんね<br>ハーロック… |
| 153 | 1 | エメラルダスTB— | |
| | 2 | スクリーンに映っているハーロック | |
| 154 | 1 | クイーン・エメラルダス号<br>吸い上げられていく機械化人や戦闘衛星 | |
| | 2 | 炎上する惑星プロメシューム | |

| シーン | カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 154 | 2 | 黒い竜巻が蠢いている<br>吸い上げられていく機械化人や構造部品 | |
| | 3 | 爆発炎上する地下都市<br>倒れていくビル　爆発するビル　炎を噴き落下していくビル等々を見せて<br>— | |
| | 4 | 傾き炎上する大寺院<br>誘発して次々と爆発していく<br>塵の如く舞い上がっていく物体　その中に幽霊列車が在る | |
| | 5 | 大寺院　塔<br>捩れ乍ら舞いあがって行く幽霊列車 | |
| | 6 | 懸命に脱出を計っている999号<br>舞いあがる有ゆる物体 | |
| | 7 | 脱出を計るアルカディア号TB—<br>舞いあがる塵の様な物体<br>戦闘衛星やヘリコプターが衝突爆発していく | |

| カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|
| 154 | | |
| 8 | サイレンの魔女UP<br>吸いこまれていく幽霊列車　一瞬白燃化して消滅していく | |
| 9 | 激しく回転する動輪 | |
| 155 | | |
| 1 | 運転席の車掌　振り向いて— | 車掌　変ですね!? |
| 2 | 車掌とメーテル<br>TBして— | 車掌　これだけパワーアップすれば脱出出来ていいはずですが…… |
| 3 | メーテル　TU— | メーテル　このスリーナインの何処かに機械エネルギーが |
| 3A | 炭水車内部　傷つきうずくまっているメタルメナ | (OFF)働いているらしいわ |
| 3B | 振り返るメタルメナ<br>フラフラし乍ら立ち上がるメタルメナ | メタルメナ　あっ |
| 3C | 蹌踉(よろ)めき乍ら立ち上がるメタルメナ<br>扉開く<br>連結部分へ出るメタルメナちらっと振り返る<br>扉閉まる | |
| 3D | 舞いあがるメタルメナ | メタルメナの声　さようなら　鉄 |

| カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|
| 155 | | |
| 3D | 一気に舞いあがっていく | 郎さん…… |
| 3E | 燃料放り込む鉄郎 | |
| 4 | 屹然(きつぜん)と立つ光の黒騎士<br>ファウストPAN・UP | |
| 5 | 燃料放り込む鉄郎 | |
| 6 | 光のファウスト | ファウスト　鉄郎…… |
| 8 | 振り向く鉄郎 | 鉄郎　!?…… |
| 9 | 機関車内部　消える光のファウスト<br>跳びあがる鉄郎<br>銃抜いて構える鉄郎 | 待てッ　ファウスト!! |
| 10 | 焚口から飛び出して来る鉄郎 | |
| 11 | 運転席のメーテルと鉄郎<br>INする鉄郎<br>慌ててとび退く鉄郎<br>天井の方を仰ぎ見る | メーテル　どうしたの!?<br>鉄郎　ファウストだ！　この列車に黒騎士が乗ってるんだ!!<br>メーテル　ええっ!?<br>ファウストの声　今度はどちらも身を引く訳にはゆかぬ　許しを乞うのは今のうちだぞ　鉄郎！ |
| 12 | 屹っと睨みつける鉄郎<br>見守るメーテルへTUし | |

| ページ | カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 155 | 12 | てー | |
| 156 | 1 | 回転する動輪 | |
| | 2 | 炭水車<br>登ってくる鉄郎 | |
| | 3 | 機関車の上に立つファウスト<br>TBして<br>塵の如く舞いあがる物体 | |
| | 4 | 起きあがる鉄郎<br>塵の如く舞う物体 | |
| | 5 | 列車の上で対峙するファウストと鉄郎<br>アルカディア号がINしてくる | |
| | 6 | 現われるクイーンエメラルダス | |
| | 7 | 仁王立ちのファウスト | |
| | 9 | 銃構える鉄郎 | 鉄郎　うっ |
| | 10 | 射つファウスト<br>光芒が走る | |
| | 11 | 吹っとぶ鉄郎 | 鉄郎　うわあッ!! |
| | 12 | ファウスト　TB— | |
| | 13 | 鉄郎 | |

| ページ | カット | 内容 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 156 | 13 | TB　頬から一筋の血が流れおちて—<br>クイーンエメラルダス号<br>少しスライドさせて | |
| | 14 | 炭水車<br>INして登ろうとするメーテル<br>声に振り仰ぐメーテル | エメラルダスの声　メーテル! |
| | 15 | 甲板上のエメラルダス | これは誰にも手出しの出来ない男の戦い…… |
| | 16 | メーテル　TU | 鉄郎の為を思うなら手を出してはいけない |
| | 17 | 後部甲板上のハーロック<br>海賊旗はためいて— | |
| | 18 | アルカディア号とエメラルダス号<br>間にはさまれている999号見える | |
| | 19 | 客車の屋根<br>跪(ひざまず)いて射つ鉄郎 | |
| | 20 | 迫って来るファウスト光芒がはずれる<br>ゆっくりと手前へ歩いてくるファウスト<br>光芒がすべてはずれてい | |

| 場面 | カット | 画面 | 台詞・音 |
|---|---|---|---|
| 156 | 20 | く | |
| | 21 | 肩口をかすめる光芒 | |
| | 22 | 黒い竜巻 | |
| | 23 | 列車屋根の鉄郎<br>アルカディア号の甲板にハーロック<br>鉄郎続けざまに乱射する<br>走る光芒肩口をかすめる<br>蹌踉めく鉄郎<br>慌てて後退する鉄郎<br>OUTと同時にINするファウスト<br>黒いガス（ブラシ）が吹きとんでくる | 鉄郎　わー |
| | 24 | 対峙するファウストと鉄郎<br>前方に迫まる黒い竜巻<br>T・B—黒いガスが頭上から降ってすべてを覆う | |
| | 25 | 鉄郎<br>黒いガスがすべてを覆う<br>画面黒ベタになる<br>FIするモノトーンの鉄郎（BLUE）<br>（短いOL） | ファウストの声　光りが無くても<br>私にはお前が見える……<br>前の時もそうだった……<br>待っていろ今からお前の<br>傍へ行く |
| | 26 | 闇の中の鉄郎　TU— | |

| 場面 | カット | 画面 | 台詞・音 |
|---|---|---|---|
| 156 | 27 | 鉄郎UP | 我慢出来るかな？…ふふ |
| | 28 | 闇の中走る光の窓 | |
| | 29 | 用心深く後退する鉄郎<br>INして— | |
| 157 | 1 | 業火（ごうか）につつまれるプロメシューム星<br>黒い竜巻迫って<br>倒れていくビル群<br>舞いあがる物体<br>手前火だるまのビルが倒れていく | |
| | 2 | 倒れていく大寺院 | |
| 158 | 1 | 大崩壊する地下宮殿<br>吸いあげられる青い炎 | （プロメシュームの断末魔の声流れて～） |
| 159 | 1 | 振り向く鉄郎 | |
| | 2 | 闇の中に浮ぶメーター類<br>FIして— | |
| | 3 | 振り向き乍ら射つ鉄郎 | |
| | 4 | 光る光芒 | ファウストの声　うっ…… |
| | 6 | オルゴール時計UP<br>キラリと光って<br>中OLで客車屋根になる<br>早いPAN・UP<br>銃構えている鉄郎 | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 159 | 7 | 対峙するファウストと鉄郎 TB—<br>ファウストの手からポロッと銃落ちる | |
| | 8 | 立尽すファウスト | ファウスト …強くなったな鉄郎 |
| | 9 | 鉄郎 | 鉄郎 !?…… |
| | 10 | 立尽すファウスト<br>TUして— | |
| | 11 | 鉄郎 TUして— | |
| | 12 | ファウストUP | ファウスト ……さらばだ |
| | 13 | 宙に舞うファウスト<br>体を起こす鉄郎 | |
| | 13A | 片膝ついて見あげる鉄郎<br>TB— | |
| | 14 | 舞いあがっていくファウスト TB— | |
| | 15 | 見つめる鉄郎 TB— | |
| | 16 | 舞いあがるファウスト | |
| | 18 | 遠退いていく999号<br>舞いあがっていく有らゆる物体 | |
| | 20 | 舞いあがるファウスト<br>ゆっくり手を差しのべる | |

| シーン | カット | 内容 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 159 | 22 | 舞いあがって行くファウスト<br>黒い竜巻迫って<br>舞いあがる有らゆる物体 | ファウスト さらばだ<br>息子よ |
| | 23 | 伴走するアルカディア号とクイーンエメラルダス号<br>眼下に炎上している惑星プロメシューム | |
| 160 | 1 | サイレンの魔女UP<br>吸い込まれていくファウスト 一瞬にして白燃化して消滅する | 黒騎士 さらばだ<br>わが息子よ |
| 161 | 1 | 見守る鉄郎 TU— | |
| | 2 | 列車屋根の鉄郎<br>鉄郎の乗せた列車IN OUT<br>アルカディア号<br>(OL) | |
| 162 | 1 | スカラベのペンダントUP<br>親指でドクロマーク押すと蓋が開く<br>鉄郎と母親の写真が入っている 黒騎士W | |

| カット | 番号 | 画面 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 162 | 2 | 見つめるハーロックUP ギュッとペンダントを握りしめる | ハーロック —— |
| | 2A | 甲板上のハーロック 手を水平に投げ出す 飛ぶペンダント | |
| | 3 | 舞いあがっていくペンダント 消えてキラリと光る | |
| 163 | 1 | 回転する動輪 | |
| | 2 | 再び燃料放り込む鉄郎 | |
| | 3 | 驀進する999号 | |
| | 4 | 驀進する999号 あとに続くアルカディア号とクイーンエメラルダス号 | |
| 164 | 1 | 崩壊する惑星プロメシューム 黒い竜巻襲う 舞いあがっていく有らゆる物体 爆発があちこちで起こる 手前黒い竜巻が通過していく | |
| | 2 | 暗黒彗星 超スローTB | |

AR-29

| カット | 番号 | 画面 | セリフ |
|---|---|---|---|
| 164 | 2 | 380度C回転し乍らスーパー 中心核不気味に明滅して (F・0) | |
| 165 | 1 | 静寂が戻った宇宙 (F・1) 小惑星に青い炎がチョロチョロと燃えて— ゆっくりとTU— | プロメシュームの声（エコー） …寒い…寒い…とても寒い… メーテル…私を…私を暖めておくれ …… |
| | 2 | 荒涼とした小惑星 PAN—DOWN 青い炎がチョロチョロ燃えている | …メーテル ああ 私の可愛い娘… メーテル…メーテル…ああ あ… あ… |
| | 7 | 赤錆びた宇宙船 PAN メーテルと鉄郎INして歩み寄る 立ち止まる ゆっくりTUして | 鉄郎 …これがお母さんと君が旅をした宇宙船か メーテル 私をつれてたどりついた小さな惑星 この石の上で 孤独と闘い乍ら永遠の命の世界作りあげたお母さま よかれと信じて |
| | 8 | 仰ぎ見るメーテルと鉄郎 | …素晴しいお母様… |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 165 | 9 | 赤錆びた宇宙船　ＰＡＮ—ＤＯＷＮ<br>前に進み出るメーテル | |
| | 9A | 見守る鉄郎 | |
| | 9B | ゆっくりと膝から崩れおれるメーテル | （嗚咽するメーテル） |
| | 10 | 嗚咽するメーテル<br>ゆっくりＴＵ<br>（Ｏ・Ｌ） | メーテル　…さぞつらくて長い旅だったでしょうね…でもその旅もやっと終ったのよ<br>… |
| | 11 | （Ｏ・Ｌ）<br>涙するメーテル<br>大粒の涙キラキラと光って—<br>ゆっくりと眼を閉じる | …やっと…<br>…… |
| 166 | 1 | 古城　大広間<br>床から雑草が生えている<br>廃虚の広間ＰＡＮ—ＵＰ<br>女王プロメシュームの大肖像画 | |
| | 2 | メーテルの肖像画ＴＵ | |
| | 3 | 肖像画ＵＰ<br>ハーモニー処理<br>ＷＸＰのメーテル　ＦＯして—<br>（Ｏ・Ｌ） | |
| 167 | 1 | （Ｏ・Ｌ）<br>明るい陽光に包まれた古城<br>無数の鳥がＩＮして湖上をわたっていく<br>その鳥を捉(とら)えて | |
| 168 | 1 | 蒼空(あおぞら)に立つ十字架<br>ミヤウダーのオルゴール時計がぶら下がっている<br>ＴＢ— | |
| | 2 | 崖上のハーロックと鉄郎マントが風に吹かれている<br>向き直る鉄郎 | ハーロック　…やはり　地球へ戻るのか!? |
| | 3 | 明るい表情の鉄郎<br>カット頭で頷いて<br>ゆっくりＴＵ | 鉄郎　ええ　僕の為に死んでいった仲間との約束ですから…それに　助け出した皆んなも一緒に来てくれるそうです |
| | 4 | ハーロック<br>手前へ歩いてくる<br>図のポジションで立ち止まる | ハーロック　…そうか… |

168

| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ハーロックと鉄郎<br>肩をガシッとつかむハーロック | 走る鉄郎　INして<br>一瞬立ち止まる鉄郎振り返る | 鉄郎<br>踵返して― | 去り去る鉄郎<br>ゆっくり歩いて来るハーロック | 見送るハーロック<br>歩いて来て立ち止まる<br>奥からトリさん飛んで来てハーロックの肩に停まる | ハーロック<br>トリさんから早い　PA<br>N―DOWN | ハーロックUP |
| ― | | 鉄郎　…… | ハーロックの声　…鉄郎　お前の父は昔　俺やエメラルダスと | 共に戦った素晴しい戦士だった<br>不幸にして途中で袂(たもと)を分ったが<br>お前は…お前の父によく似ている | 鉄郎　たとえ　父と志は違っても　それを乗り越えて<br>若者が未来を作るのだ<br>親から子へ　子からまたその子へ　血は流れ永遠に続いて行く | それが本当の永遠の命だと<br>俺は信じる |

AR-30

169

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|
| ラーメタル駅<br>階段から昇って行く鉄郎<br>車掌ボンヤリ空を仰いでいる<br>立ち止まる鉄郎<br>気付いて | 車掌と鉄郎<br>四五歩奥へ歩み再び虚空を仰ぐ車掌<br>台詞に合せACTIONつけて | 回れ右をする車掌<br>直立不動で<br>ボタンをひとつずつはずし乍ら<br>パッと服の前を開いて見せる<br>透明人間である | 車掌と鉄郎 | プラットホーム　PAN |
| 鉄郎　車掌さん!?<br>車掌　え?　ああ　お帰りなさい | 鉄郎　どうしたのさ<br>車掌　私もやっと目が醒めましたよ<br>鉄郎　え!?<br>車掌　生身の体がいいか　機械の体がいいか…迷いに迷っていた自分が恥ずかしいです | こうなったら絶対になります!<br>鉄郎　(OFF)どっちに!?<br>車掌　イヤですね　元の体にですよ | 鉄郎　ああ!…これじゃ　お風呂へ入っても仕方ないな<br>車掌　オホホホホ… | |

| カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|
| 5 | 荷物を運び込む人々が見える | |
| 6 | 列車に武器弾薬を運び込んでいるパルチザンたち止め絵PAN | （パルチザンたちのワイワイガヤ） |
| 7 | メーテルとエメラルダス足元を蒸気が舞っている超スローTU | エメラルダス　メーテル　あなたは鉄郎と一緒に行くことは出来ないわ…<br>…あなたも私も　永遠に終る事のない時間の中を流れていく時の旅人 |
| 8 | 振り返るメーテル | 鉄郎の声　メーテル！ |
| 9 | 荷物運んでいる鉄郎 | |
| 10 | メーテルUP優しく微笑んで | メーテル　先乗ってなさい　鉄郎 |
| 11 | 鉄郎列車へ乗り込む | |
| 12 | メーテルとエメラルダス顔戻すメーテルをジッと見守るエメラルダスそっとメーテルの肩に置かれる手 | エメラルダス　…私たちの旅に終りはないわ… |
| 13 | 宿命の女メーテル髪が流れる　BGカット頭で白色透過光へ中OL | |

AR-31

169

| カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|
| 14 | 落下するトランク白色透過光 | |
| 15 | ホイッスル激しく鳴る | |
| 16 | 動き始めるピストン蒸気もうもうとあがって<br>— ゆっくりとすべり出して行く動輪UP | |
| 17 | メーテルUP　TU— | |
| 18 | プラットホーム出て行く999号　煙と蒸気もうもうとあげて | |

170

| カット | 画面 | セリフ |
|---|---|---|
| 1 | 振り返る鉄郎UP BG白色透過光 | |
| 2 | 客車内部通路に立つ鉄郎窓外をメーテルが横切っていく思わず窓際へ走り寄る鉄郎 | 鉄郎　あ<br>鉄郎　メーテルっ!? |
| 3 | 画面横切っていくメーテル | |
| 4 | 客車内部走って来る鉄郎に慌てて通路あけるパルチザンたち | |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 170 | 5 | 遠去かるメーテル | |
| | 6 | 車掌扉開けて入ってくる 鉄郎走り込んでくるので 慌てて蹌踉めく車掌 | |
| | 7 | 画面横切るメーテル 白色透過光 | |
| 171 | 1 | 驀進する999号 | |
| | 2 | 叫ぶ鉄郎 | 鉄郎　メーテル!! |
| | 3 | 上昇する999号 驀進していく999号 IN | |
| | 4 | 見送るメーテル INして立ち止まる | |
| | 5 | 上昇する999号 最後尾の列車デッキに立つ鉄郎 | 鉄郎　メーテル |
| | 6 | 立尽すメーテル　TB | メーテルの声　さようなら　鉄郎 いつかお別れの時が来ると 私にはよくわかっていました… |
| | 7 | デッキロに立尽す鉄郎 | |
| | 8 | 立尽すメーテル　TB | 私は青春の幻影　若者にしか見えない時の流れの中を旅する女… |

| シーン | カット | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 171 | 9 | 鉄郎 | 私は |
| | 10 | 立尽すメーテル　TB | メーテルという名が 鉄郎の想い出の中に残ればそれでいい…私はそれでいい…さようなら　鉄郎 |
| | 11 | 鉄郎　TU | あなたの青春と一緒に旅をした事を私は永久に忘れない |
| | 12 | ラーメタル駅　TB 若草生えた岩山がゆっくりINして画面覆う | さようなら…私の鉄郎…さようなら… |
| | 12 | 上昇する999号 地平線の彼方からヘビーメルダーが現われる 鉄郎の帽子がゆっくり舞いおちていく | |
| | 14 | 風に乗って舞う帽子 その帽子捉えて　PAN すると眼下に拡がるラーメタルが眺望出来る 帽子消えて行く | |
| | 15 | デッキロの鉄郎 ガバッと壁に背中押しつける ゆっくりTUして | 鉄郎の声　メーテル… |

| カット | 番号 | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 172 | 1 | 幽玄なるラーメタル星<br>驀進する999号 | |
| | 2 | 宇宙行く999号<br>その奥をアルカディア号<br>が最後尾からINする<br>ぐんぐん追い抜いて行く<br>999号 | |
| | 3 | 見送るハーロックとミー<br>メ<br>遠去かっていく999号<br>前方にクイーンエメラル<br>ダス号 | |
| | 4 | 見送るハーロックとミー<br>メ TB | |
| | 5 | 見送るエメラルダス<br>窓ガラスに映る999号 | |
| | 6 | 驀進する999号<br>後方のクイーンエメラル<br>ダスとアルカディア号ゆ<br>っくりスライドさせて<br>画面UPまで<br>①DN 去るアルカディ<br>ア クイーンエメラルダ<br>ス号 | |

AR-32

| カット | 番号 | 画面 | 台詞 |
|---|---|---|---|
| 173 | 1 | 客車内部<br>ガラッと強く扉開くと鉄<br>郎立っている | |
| | 2 | 毅然と立つ鉄郎<br>肩に弾帯をかけている<br>PAN—UP 風になび<br>く髪とマント ゆっくり<br>とTU | ナレーション 時は流れ メーテ<br>ルは消えて行く 少年の日<br>が二度と還らないようにメ<br>ーテルもまた去って還らな<br>い<br>人は云う スリーナインは<br>鉄郎の心の中を走った青春<br>という名の列車だと… |
| 174 | 1 | 激しく回転する動輪 | |
| | 2 | ホイッスル鳴る | |
| | 3 | 驀進する999号 | いま一度 万感の想いをこ<br>めて汽笛が鳴る<br>今一度 万感の想いをこめ<br>て汽車がゆく |
| | 4 | 太陽系に向って走り去る<br>999号 (FO) | さらば メーテル<br>さらば 銀河鉄道<br>スリーナイン… |
| | 5 | 黒い画面<br>白い文字FIする | |
| | 1 | ラーメタル星に陽が沈む<br>太陽からTB<br>丘の上のメーテルIN | |

| 175 | | |
|---|---|---|
| 2 | メーテルUP | (※クレジットタイトル流れる) |
| 3 | 風に吹かれるメーテル | |
| 4 | 名場面挿入<br>PART①②よりデューブ抜萃<br>すべてモノクローム処理 | |
| 5 | 歩くメーテルの後姿<br>ゆっくりと縮少していく | (※クレジットタイトル終る) |
| 6 | 青い地球<br>エンドタイトルIN | |

## "LOVE LIGHT"

Lyric : Mary Macgregor

Music : David, Holman &
Brian Whitcomb

YOUR EYES

THEY SHINE

WITH A LOVE LIGHT

YOUR JOY

IS MINE

IN A LOVE LIGHT

TURN NIGHT

TO DAY

WITH A LOVE LIGHT

TAKE ME

AWAY

SHINING SHOWER

ENDLESS POWER

LOVE LIGHT